

# KONTROL49

MIDI STUDIO CONTROLLER

## 取扱説明書



# KORG

## 安全上のご注意




ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

### 火災・感電・人身障害の危険を防止するには

#### 図記号の例

	△ 記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘ 記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	● 記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

### 以下の指示を守ってください

## 警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます



- ・ ACアダプターのプラグは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込む。
- ・ ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショート恐れがあります。
- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。



- ・ 次のような場合には、直ちに電源を切って ACアダプターのプラグをコンセントから抜く。  
ACアダプターが破損したとき  
異物が内部に入ったとき  
製品に異常や故障が生じたとき  
修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。



- ・ 本製品を分解したり改造したりしない。
- ・ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- ・ ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものを載せない。コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- ・ 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。

万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

- ・ 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- ・ 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- ・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



- ・ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
- ・ 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- ・ 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・ 本製品に液体をこぼさない。



- ・ 濡れた手で本製品を使用しない。

## 注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- ・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。  
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。

- ・外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。



- ・長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。



- ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしなない。

本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。

- ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
- 故障の原因になります。

- ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。

- ・不安定な場所に置かない。
- 本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

- ・本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
- 本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。

## データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがありますので、大切なデータはコンピューターにセーブしておいてください。またデータの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## ソフトウェア使用許諾契約について

本製品のソフトウェアをインストールする前に、別紙の「ソフトウェア使用許諾契約」を必ずお読みください。インストールすると、この契約に同意したことになります。

- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ AppleおよびMacならびにMac OSは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- ・ Built for Mac OS Xグラフィックは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Windows XPは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- ・ その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 製品の仕様や外観は、予告なく変更することがあります。

## 取扱説明書の表記

エンコーダーやキーなどの表記 [ ]  
KONTROL49のパネル上のエンコーダーやキー等は、[ ]で括弧で表しています。

パラメーターの表記 “ ”  
パラメーターは、“ ”で括弧で表しています。

マーク , **note**

これらのマークは順番に、使用上の注意、アドバイス、に関する説明を表しています。

ディスプレイ表示

取扱説明書に記載されている各種のパラメーターの数値などは、表示の一例ですので、本体のディスプレイの表示と必ずしも一致しない場合があります。

## 目次

パッケージ内容 .....	vi
はじめに .....	1
主な特長 .....	1
各部の名称と機能 .....	2
フロント・パネル .....	2
トリガー・パッドの機能について .....	4
リア・パネル .....	5
接続と電源の入れ方 .....	6
MIDI 接続 .....	6
USB 接続 .....	6
オペレーション編 .....	8
モードの概要 .....	8
1. Play モード .....	8
2. Setting モード .....	8
3. Message モード .....	8
4. Scene モード .....	8

クイック・スタート .....	9
1. 電源を入れる .....	9
2. シーンを選択する .....	9
3. コントローラーを設定する .....	9
4. シーンの保存 .....	11
5. シーン・セットのコンピューターでの管理 .....	12
Play モード .....	13
コントローラーの操作 .....	13
1. エンコーダー、スライダー .....	13
2. トリガー・パッド .....	14
3. ベクター・ジョイスティック .....	15
4. ピッチ・ベンド・ホイール、モジュレーション・ホイール .....	15
5. スイッチ 1、スイッチ 2 .....	16
6. ペダル( PEDAL 端子、SWITCH 端子 ) .....	16
7. メイン・エンコーダー .....	17
8. 鍵盤 .....	18
Setting モード .....	19
シーン・パラメーターの設定 .....	19
グローバル・パラメーターの設定 .....	19
OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて ...	19
[1] ENCODER (Encoder assignment) .....	20
NRPN、RPNのアサイン .....	21
名前を入力する .....	22
コントロール・チェンジのクイック・アサイン .....	23
[2] SLIDER (Slider assignment) .....	24
[3] PAD 1-8 (PAD 1-8 assignment) .....	24
[4] PAD 9-16 (PAD 9-16 assignment) .....	26

[5] PITCH (Pitch Bend Wheel assignment) .....	26	[16] GLOBAL (Global setting) .....	46
+、- 方向で1つのMIDIメッセージをアサインする .....	26	ポラリティ( 接続するペダルの極性 )の設定 .....	47
+方向と -方向で別々のMIDIメッセージをアサインする .....	28	ペダル・キャリブレーション( ペダルの有効範囲 )の設定 .....	47
アフタータッチのアサイン .....	29	LCDバックライトの設定 .....	48
ベロシティのアサイン .....	29	パッド・イルミネーションの設定 .....	48
コントロール・チェンジのアサイン .....	30		
[6] MOD (Modulation Wheel assignment) .....	30	<b>Messageモード</b> .....	49
[7] VECTOR-X (Vector-X assignment) .....	31	[1] PANIC (Panic message) .....	49
[8] VECTOR-Y (Vector-Y assignment) .....	32	[2] SNAP (Snap Shot message) .....	50
[9] SW1/SW2 (SW1/SW2 assignment) .....	32	[3] NOTE OFF (All Note Off message) .....	50
1パラメーター設定にする場合 .....	32	[4] GM ON (GM On message) .....	50
2パラメーター設定にする場合 .....	33	[5] STOP (Stop message) .....	50
[10] PEDAL (Pedal assignment) .....	35	[6] START (Start message) .....	51
コントロール・チェンジのアサイン .....	36	[7] CONTINUE (Continue message) .....	51
[11] FOOT SW (Foot SW assignment) .....	36	[8] TAP (Tap Tempo message) .....	51
コントロール・チェンジのアサイン .....	37	[9]-[16] USER MSG 1-8 (User message) .....	51
[12] KEYBOARD (Keyboard setting) .....	38	<b>Sceneモード</b> .....	52
[13] MAIN ENC (Main Encoder assignment) .....	39	OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて ...	52
プログラム・チェンジ&バンク・セレクトのアサイン .....	40	[1]-[12] Select Scene .....	52
[14] MESSAGE (Message setting) .....	41	[13] MIDI Channel .....	53
CtrlChg (Control Change message) .....	41	[14] DUMP .....	53
ProgChg (Program Change message) .....	42	[15] PRELOAD .....	54
BankSel (Bank Select message) .....	42	[16] WRITE .....	55
Free Mesg (Free message) .....	43		
[15] USB-MIDI PORT (USB-MIDI Port setting) .....	44		
KONTROL49とドライバのポートについて .....	45		
MIDI INデバイス .....	45		
MIDI OUTデバイス .....	46		
KONTROL49のMIDI端子について .....	46		
USB接続されていないとき .....	46		
USB接続されているとき .....	46		

資料編 .....	56
<b>使用できるMIDIメッセージ</b> .....	56
チャンネル・メッセージ .....	56
システム・リアルタイム・メッセージ .....	56
MIDIコントロール・チェンジ・メッセージ .....	56
チャンネル・モード・メッセージ .....	57
RPN MSB/LSB .....	57
ノートNo. ....	57
Preset Scene Name .....	58
<b>MIDIインプリメンテーション</b> .....	58
システム・エクスクルーシブ・メッセージ .....	58
KONTROL49のフォーマット .....	58
シーンを切り替える .....	58
シーンやグローバル設定データを送る(データ・ダンプ) .....	58
<b>KORG専用モードについて</b> .....	58
専用モードでの操作 .....	59
<b>故障とお思いになる前に</b> .....	59
<b>主な仕様</b> .....	61
<b>索引</b> .....	62

## パッケージ内容

KONTROL49には、以下のものが含まれています。  
パッケージを開けたら、まずすべてのものがあるかどうかを確認してください。  
不足している場合は、コルグお客様相談窓口へお問い合わせください。

### 本体(KONTROL49)

### ACアダプター


KONTROL49に電源を供給します。MIDI音源等をMIDI端子で接続するときにACアダプターを使用します。(※p.6「接続と電源の入れ方」)

### USBケーブル

KONTROL49とコンピューターをUSB接続するときに使用します。(※p.6「接続と電源の入れ方」)

### CD-ROM

コンピューターにインストールするドライバ(Windows XPのみ)、エディター・ライブラリアン・ソフト、WAVESTATIONソフトウェア・シンセサイザーなどを収録しています。

 CD-ROMをオーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。大音量により耳に傷害を被ったり、CDプレーヤーやスピーカーを破損する恐れがあります。

### トリガー・パッド用ネーム・シート/シール

本体のトリガー・パッドに割り当てたMIDIメッセージやコントロールする内容にあったシールをネーム・シートに貼り付け、本体のトリガー・パッドの上に載せます。  
16個のトリガー・パッドにアサインした内容をすぐに確認できて便利です。

### 取扱説明書、MIDIインプリメンテーション・チャート

### インストール・ガイド

### 保証書/愛用者カード、ソフトウェア使用許諾契約

# はじめに

このたびは、コルグ MIDIスタジオ・コントローラー-KONTROL 49をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。本製品を未永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

## 主な特長

KONTROL 49は、コンピューター・ベースのミュージック・プロダクション/パフォーマンスに必要な、すべてのコントローラーを装備したMIDIコントローラーです。

4オクターブ・キーボード、8エンコーダー、8スライダー、16トリガー・パッドを操作して、ソフト・シンセやDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)だけでなく、外部MIDI音源など様々なミュージック・デバイスを自由自在にコントロールすることができます。プログラム・チェンジなどのMIDIメッセージを即座に送信することができる機能に加え、4オクターブの標準鍵盤、トリガー・パッドを使い思い通りのライブ・パフォーマンスを実現させることができます。

### ディスプレイ付き 8 エンコーダー、8 スライダー

各8系統あるエンコーダーとスライダーには、NRPNとRPNを含むMIDIコントロール・チェンジがアサイン可能です。また、エンコーダーとスライダーには、パラメーター名と値を表示するディスプレイを装備し、バックライト色によって表示内容の識別が可能です。

### 16トリガー・パッド

MIDIコントロール・チェンジをアサインすることによって、トランスポート・コントロールをはじめとする様々なコントロール・スイッチとして使用できます。また、ノート・メッセージ・アサイン時には、パッドを叩く強さによってベロシティも送信することができ、強弱のついたノート・メッセージを送信できます。

### ホイール、スイッチ、ペダル端子

ピッチ・バンド・ホイール、モジュレーション・ホイール、2つのスイッチ、アサインابل・ペダル端子、アサインابل・スイッチ端子を装備し、自在にコントロールすることが可能です。

### ベクター・ジョイスティック

X方向、Y方向それぞれにMIDIコントロール・チェンジをアサインすることができます。WAVESTATIONソフトシンセやエフェクター等、2つのパラメーターを直感的にコントロールすることが可能です。

### パラメーターのイージー・アサイン

ディスプレイによる豊富な情報と簡単な操作によって、各コントローラーにMIDIメッセージをアサインすることができます。

### 12 ユーザー・メモリー

コンピューター上のソフト・シンセ、DAW等の操作にあわせて各コントローラーにアサインした設定を、シーンとして本体ユーザー・メモリーに12個まで保存することができます。保存したこれらのシーンは、トリガー・パッドによって瞬時に切り替えることができます。また本体には、代表的なシーケンサー・ソフトやソフト・シンセに対応した設定があらかじめロードされています。

### エディタ・ソフトウェア/テンプレート・シーン・データ付属

シーン・データをコンピューターで編集や管理することができるエディター・ライブラリアン・ソフトと、代表的なDAWやソフト・シンセのテンプレート・シーン・データを付属しています。本体とエディター・ライブラリアン・ソフトのシームレスな連携により、テンプレート・シーンや自分で作成したオリジナル・シーンを、制作環境や使用目的に応じてフレキシブルに設定することができます。

### バス電源対応

本体搭載のUSBはバス電源対応です。コンピューターとUSBケーブル1本を接続するだけで電源の供給とメッセージの通信が可能です。

## 各部の名称と機能

### フロント・パネル

#### ベクター・ジョイスティック

前後左右 (X、Y) 各方向に、それぞれコントロール・チェンジがアサイン可能です。

#### スイッチ 1、スイッチ 2

1パラメーター設定 (Inc/Dec形式)、または2パラメーター設定 (SW × 2) のいずれかの方法でコントロールできます。

- ・ 1パラメーター設定ではコントロール・チェンジ、プログラム・チェンジがアサイン可能です。
- ・ 2パラメーター設定ではダンパー、ソステヌート、ソフト・ペダル、ポルタメント、コントロール・チェンジがアサイン可能です。

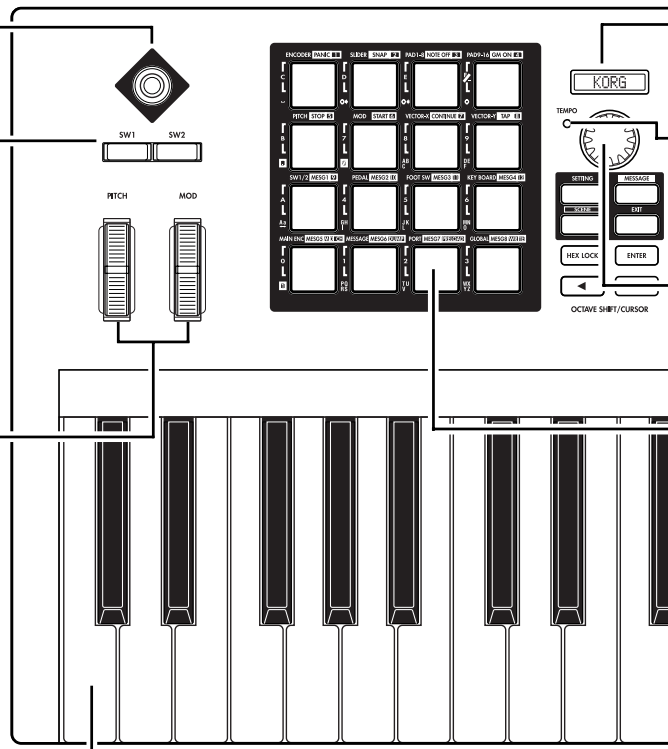
#### ピッチ・バンド・ホイール/モジュレーション・ホイール

それぞれMIDIメッセージをアサインして、接続した機器やコンピューター上のアプリケーションをコントロールします。

- ・ ピッチ・バンド・ホイールにはピッチ・バンド、マスター・バランス、アフタータッチ、ベロシティ、コントロール・チェンジがアサイン可能です。
- ・ モジュレーション・ホイールにはアフタータッチ、ベロシティ、コントロール・チェンジがアサイン可能です。

#### 鍵盤

49鍵ベロシティ付き標準鍵盤です。ノート・メッセージを送信します。



#### メイン・ディスプレイ

各モードでシーン名、ページ、パラメーター等を表示します。

#### TEMPO LED

TEMPO LEDは、メイン・エンコーダーで調整したMIDIクロックのテンポに対して、4分音符のタイミングで点滅します。

#### メイン・エンコーダー

Playモードでは、MIDIクロックのテンポを調整したり、プログラム・チェンジを送信することができます。その他のモードでは、パラメーターを設定します。

#### トリガー・パッド

トリガー・パッドには、コントロール・チェンジ、またはノート・メッセージ (C-1 ~ G9) がアサイン可能です。

コントロール・チェンジ・アサイン時には、パッドを押したときに127、離れたときに0の値を送信するか、押したときに0と127の値を交互に送信します。ノート・メッセージ・アサイン時には、パッドを叩いたときにノート・オン (ベロシティ値を含む) を、離れたときにノート・オフを送信するか、またはパッドを叩いたときにノート・オンとノート・オフを交互に送信します。

その他、各モードでのページ選択、テンキー等、モードによってさまざまな機能が割り当てられています。  
(※p.4「トリガー・パッドの機能について」)



**[MESSAGE] キー**

このキーを押したまま、各メッセージが割り当てられているトリガー・パッドを押すと、アサインされた MIDI メッセージを送信します。

**[SETTING] キー**

このキーを押したまま、各ページが割り当てられているトリガー・パッドを押すと、Setting モードに入ります。

**[SCENE] キー**

このキーを押したまま、各ページが割り当てられているトリガー・パッドを押すと、Scene モードに入ります。

**[HEX LOCK] キー**

このキーを押して点灯させると、トリガー・パッドで数値を入力するときに 16 進数で入力できます。また、キーが点灯しているときは、メイン・ディスプレイやサブ・ディスプレイに表示される数値は、16 進数で表示されます。

**OCTAVE SHIFT/CURSOR キー**

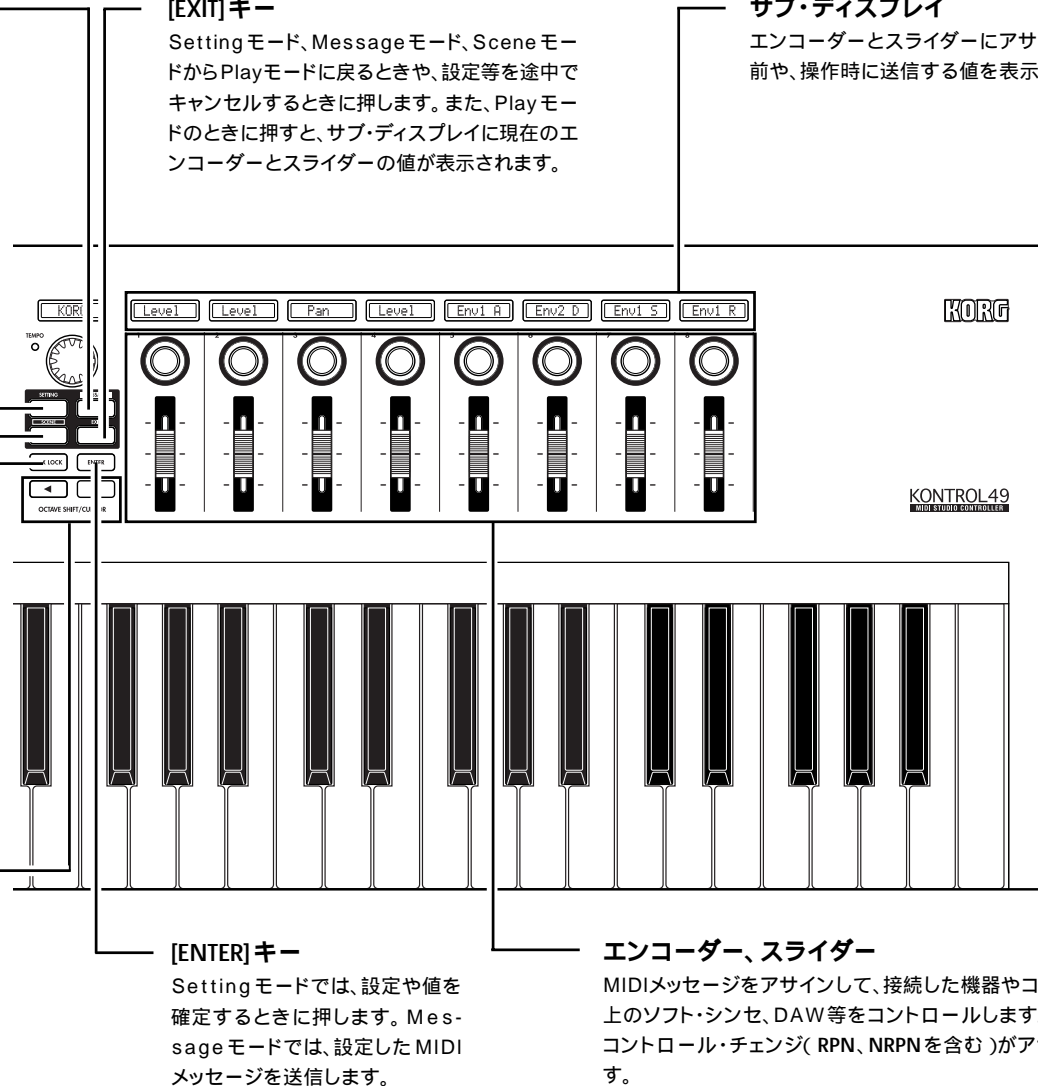
Play モードでは、オクターブ・シフト・キーとなり、鍵盤のオクターブを設定します。(※p.18) その他のモードでのパラメーター等の設定時やテキスト入力時には、カーソル・キー(両方のキーが点灯)となります。

**[EXIT] キー**

Setting モード、Message モード、Scene モードから Play モードに戻るときや、設定等を途中でキャンセルするときに押します。また、Play モードのときに押すと、サブ・ディスプレイに現在のエンコーダーとスライダーの値が表示されます。

**サブ・ディスプレイ**

エンコーダーとスライダーにアサインされた名前や、操作時に送信する値を表示します。

**[ENTER] キー**

Setting モードでは、設定や値を確定するときに押します。Message モードでは、設定した MIDI メッセージを送信します。

**エンコーダー、スライダー**

MIDI メッセージをアサインして、接続した機器やコンピュータ上のソフト・シンセ、DAW 等をコントロールします。コントロール・チェンジ(RPN、NRPNを含む)がアサイン可能です。

## トリガー・パッドの機能について

トリガー・パッドには、さまざまな機能が割り当てられています。

### MIDIメッセージの送信

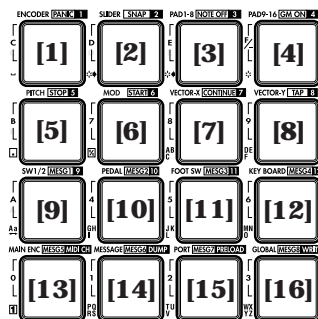
Playモードでは、パッドを押すたびに、SettingモードでアサインしたMIDIメッセージを送信します。またMessageモードでも、[MESSAGE]キーを押しながらパッドを押すことによって、あらかじめ割り当てられたMIDIメッセージが送信できます。

### 各モードへの移動

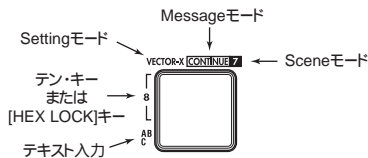
Playモードから各モードへ移動する際に、目的のモード・キーを押しながらパッドを押すことによって、そのモードに移動、またはMIDIメッセージを送信できます。

### パッド・ナンバーについて

取扱説明書中に記載されているパッド・ナンバー(パッド[1]等)は、本体のパッドと図のように対応しています。



また、本体にある各パッドの表示は、モードごとに割り当てられているページや機能を示しています。

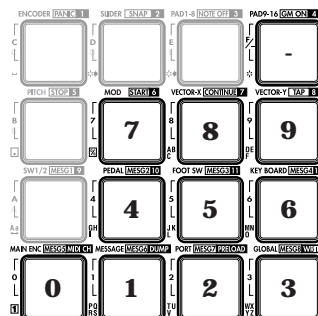


### 数値の入力

Setting、Sceneの各モードでの設定時は、MIDIコントロール・チェンジ・ナンバーやMIDIチャンネル等の数値を入力する際に、パッドを使用することができます。パッドでの数値には、10進数での入力と16進数での入力の2通りの入力方法があります。

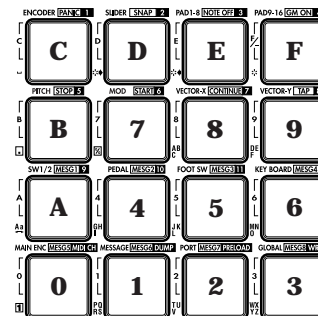
#### トリガー・パッドでの10進数入力

10進数で入力するときは、[HEX LOCK]キーが点灯していない状態で、以下対応するパッドを押します。これら以外のパッドを押した場合は、値がクリアされます。



#### トリガー・パッドでの16進数入力

16進数で入力するときは、[HEX LOCK]キーを押してキーを点灯させ、以下に対応するパッドを押します。



## リア・パネル

## [コントラスト調整]ノブ

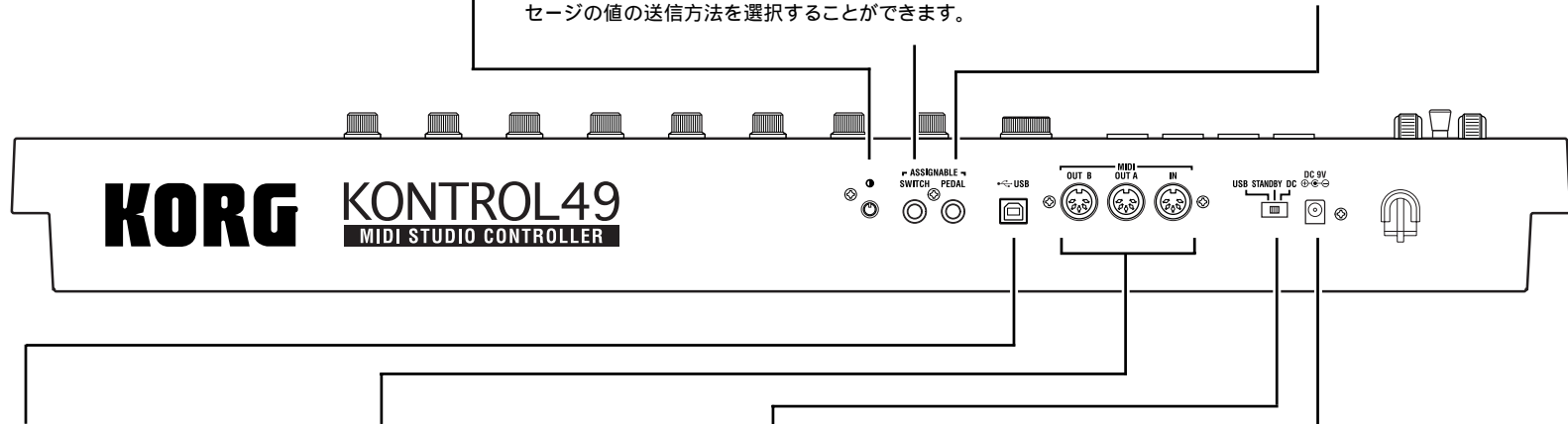
ディスプレイのコントラストを調整します。  
ディスプレイの表示は、目線の高さや角度によって見え方が異なります。必要に応じて調整してください。

## SWITCH 端子

別売りのコルグPS-1ペダル・スイッチやDS-1Hダンパー・ペダルなどを接続します。  
接続したペダルには、ダンパー、ソステヌート、ソフト・ペダル、ポルタメント、コントロール・チェンジがアサイン可能です。また、ペダルを踏んだときのMIDIメッセージの値の送信方法を選択することができます。

## PEDAL 端子

別売りのEXP-2フット・コントローラーやXVP-10エクスペッション・ペダルを接続します。  
接続したペダルには、マスター・ボリューム、フット・ペダル、ポルタメント・タイム、ボリューム、パンポット、エクスペッション、コントロール・チェンジがアサイン可能です。



## USB 端子

USBケーブルでコンピューターと接続し、MIDIメッセージを送受信します。

## MIDI 端子

外部MIDI機器を接続し、MIDIメッセージを送受信します。  
MIDI端子は、USB端子にコンピューターを接続しているときと接続していないときで機能が異なります。詳しくは「KONTROL49のMIDI端子について」(p.46)を参照してください。

## 電源スイッチ

本体の電源を入れます。接続方法によってスイッチを切り替えます。(p.6「接続と電源の入れ方」)

## 電源端子

付属のACアダプターを接続します。  
ACアダプターは、MIDI端子を使って接続した機器をコントロールする場合に使用します。USBケーブルでコンピューターと接続した場合には、コンピューターから電源が供給されるので(バス電源方式)、ACアダプターは必要ありません。

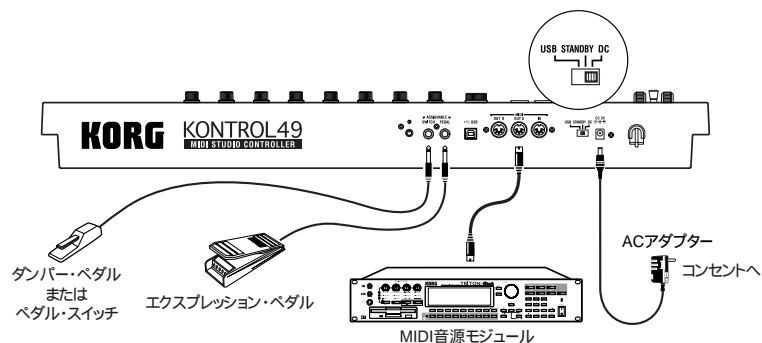
⚠ コンピューターによっては、バス電源方式で電源が供給できない場合があります。そのときはセルフ・パワー(外部から電源を供給できるタイプ)のハブ、またはACアダプターを使用してください。

## 接続と電源の入れ方

### MIDI接続

接続は、必ずすべての機器の電源を切った状態で行ってください。不注意な操作を行うと、スピーカー・システム等を破壊したり、誤動作を起こす原因となりますので、十分に注意してください。

- 1 KONTROL 49の電源端子にACアダプターのプラグを接続してからコンセントに差し込みます。
- 2 MIDIケーブルで外部機器と接続します。また、ペダルを接続する場合はPEDAL端子にペダルを接続します。



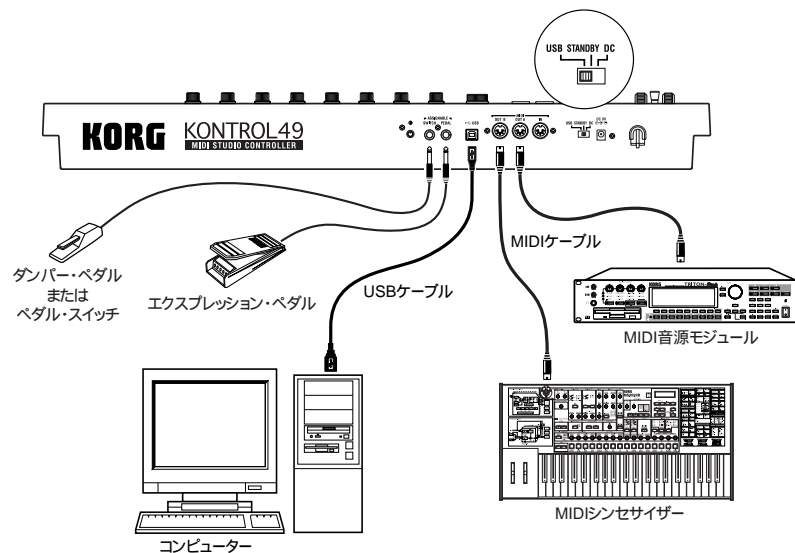
- 3 KONTROL 49の電源スイッチをDCにすると電源が入ります。
- 4 接続した機器の電源を入れます。

- 5 電源を切るときは、接続した機器の電源を切ってからKONTROL 49の電源スイッチをSTANDBYにします。

設定の保存中(ライト中)には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

### USB接続

- 1 USBケーブルでコンピューターのUSB端子と接続します。USB接続の場合は、コンピューターの電源を入れたままで接続が可能です。ペダルを接続する場合は、PEDAL端子にペダルを接続します。MIDI OUT A端子からはKONTROL 49のエンコーダーなどのMIDIメッセージが送信されます。MIDI OUT B端子からは、USB接続されたコンピューターからのMIDIメッセージが送信されます。(p.46)



**note** KONTROL49はUSB - MIDIインターフェースとしても使用できます。MIDI OUT A端子にMIDI音源等を接続すると、KONTROL49の鍵盤などでMIDI音源などをコントロールできます。MIDI OUT B端子にMIDI音源等を接続すると、そのままコンピュータとMIDI音源とのやり取りも行えます。

**2** KONTROL49の電源スイッチをUSBにすると、電源が入ります。USB接続の場合は、接続したコンピューターから電源を供給します(バス電源方式)。セルフ・パワーのUSBハブを使用している場合も同様です。

**⚠** USB接続をした場合は、ACアダプターを使用する必要はありません。ただし、小電力のコンピューターや、バス電源のみのハブを使用して複数の機器を接続している場合等は、電源を供給できないことがあります。このときは、メイン・ディスプレイに“LowPower”と表示されます。このような場合は、ACアダプターを使用し、電源スイッチをDCにします。

**3** 電源を切るときは、電源スイッチをSTANDBYにします。

**⚠** 設定の保存中(ライト中)には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

# オペレーション編

## モードの概要

KONTROL49にはPlay、Setting、Message、Sceneの4つのモードがあります。

### 1. Play モード

鍵盤やエンコーダー、スライダーなどのコントローラーを操作して、接続したMIDI音源やコンピューター上のソフト・シンセ、DAW等をコントロールするモードです。

各コントローラーの設定(シーン・パラメーター)は、Sceneモードであらかじめ保存してある設定(シーン)を選択するか、Settingモードで設定します。

### 2. Setting モード

Settingモードでは、シーン・パラメーター(各コントローラーの設定)とグローバル・パラメーター(全体に関わる設定)を設定します。

シーン・パラメーターには、各コントローラーへのMIDIメッセージのアサイン、アサインしたMIDIメッセージの送信MIDIチャンネル、USB-MIDIポートの設定等があります。接続したMIDI音源やコンピューター上のソフト・シンセ、DAW等に合わせシーン・パラメーターを設定します。エンコーダーとスライダーにアサインしたパラメーターには名前を付けることができます。

グローバル・パラメーターには、接続するペダルの設定、LCDバックライトの設定、パッド・イルミネーションの設定があります。

グローバル・パラメーターは、[ENTER]キーを押してSettingモードからPlayモードに戻ったときに自動的に本体内メモリーに保存されます。

### 3. Message モード

Messageモードでは、パッドに割り当てられた各種MIDIメッセージを送信します。

### 4. Scene モード

Sceneモードでは、以下のことを行います。

- ・ユーザー・メモリーに保存してあるシーンを選択します。
- ・シーンとグローバルのMIDIチャンネルを選択します。
- ・Settingモードで設定したシーン・パラメーターをユーザー・メモリーにシーンとして名前を付けて保存します。
- ・プリセット・シーンをユーザー・メモリーへロードします。(工場出荷状態に戻す)
- ・本体内のシーンとグローバル・パラメーターのダンプ送受信をします。

## クイック・スタート

### 1. 電源を入れる

KONTROL49とコンピューターを接続し、電源を入れます。(※p.6「接続と電源の入れ方」)

自動的にPlayモードに入ります。

現在選ばれているシーン名がメイン・ディスプレイに表示されます。

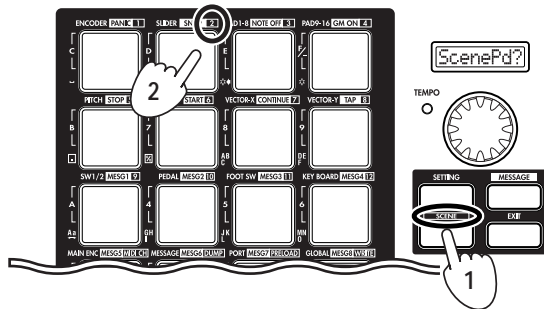
KONTROL49で操作するソフトウェアを立ち上げて、USBとMIDIに関する設定を行ってください。USBとMIDIに関する設定等の詳細は、使用するソフトウェアやコンピューターの取扱説明書を参照してください。

### 2. シーンを選択する

KONTROL49は、DAWやソフト・シンセ等のソフトウェアを最適に操作するために、エンコーダーやスライダー等のコントローラーにパラメーターをアサインすることができます。この設定をまとめてシーンと呼びます。

KONTROL49には、あらかじめ12個のシーンがプリセットとして内蔵されています。付属のCD-ROMに収録されているシーン・リストを参照して、コントロールするソフトウェアにあわせてシーンを選んでください。また、付属のCD-ROMには、あらかじめ内蔵されている12個のシーン以外に多数のシーンが収録されています。

ここでは、シーン2(シーン・ナンバー2)を選択してみましょう。



手順1 [SCENE]キーを押します。

キーを押している間は、メイン・ディスプレイに「ScenePd?」と表示されます。トリガー・パッドのうち、シーンが登録されているパッドが点灯し、現在選択されているシーン・ナンバー1のパッドが点滅します。(※p.52「Sceneモード」)

シーン・ナンバーは、各パッドの上部右側に表記されている数字と一致します。

手順2 [SCENE]キーを押したまま、パッドの上部に2と表記されているパッドを押します。シーンが切り替わり、メイン・ディスプレイの表示がシーン・ナンバー2の名前に変わります。

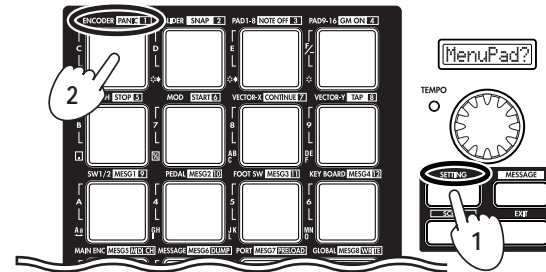
手順3 [SCENE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

KONTROL49のコントローラーを操作して、コンピューター上のソフトウェアをコントロールしてみてください。(※p.13「Playモード」)

### 3. コントローラーを設定する

エンコーダーなどのコントローラーで別のパラメーターを操作する場合には、そのコントローラーのアサイン設定を変更します。

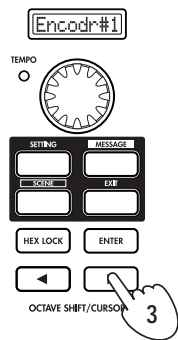
ここでは、エンコーダー1にコントロール・チェンジ・ナンバー10、MIDIチャンネルを1に、さらにエンコーダー2にコントロール・チェンジ・ナンバー15、MIDIチャンネルを2にアサインしてみましょう。



手順1 [SETTING]キーを押します。

キーを押している間、メイン・ディスプレイに「MenuPad?」と表示され、16のパッドからどれを選択するが待機状態になります。

## オペレーション編 - クイック・スタート



手順2 [SETTING]キーを押したまま、[ENCODER]が割り当てられているパッド[1]を押します。(※p.20)

メイン・ディスプレイに“ Encodr#1 ”と表示されます。

手順3 [SETTING]キーを離します。

OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーが赤、[▶]キーが緑に点灯します。赤はそれより先にページがないことを示し、緑は次のページがあることを示しています。

手順4 メイン・エンコーダーで、設定したいエンコーダーのナンバーを選択します。

エンコーダー1のアサイン設定をするので、メイン・ディスプレイに“ Encodr#1 ”と表示されていることを確認します。

手順5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押します。

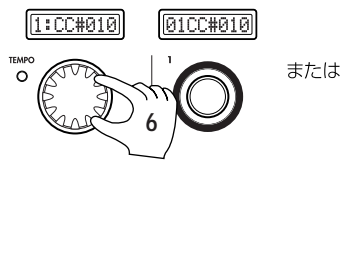
MIDIメッセージを選択するページへ移動します。(※p.20)

メイン・ディスプレイに、エンコーダー1に現在設定されているMIDIメッセージが表示されます。

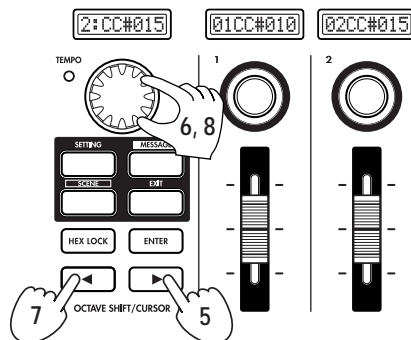
手順6 メイン・エンコーダーまたはパッドで、コントロール・チェンジ・ナンバーを10にします。(※p.20)

このとき、エンコーダー1の上にあるサブ・ディスプレイの表示も更新されます。

**note** コントロール・チェンジ・ナンバーはパッドでも入力できます。



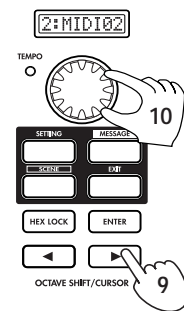
または



手順7 次にOCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して、エンコーダーの選択ページに戻ります。

手順8 エンコーダー・ナンバーを“ Encodr#2 ”にして、コントロール・チェンジ・ナンバーを15にします。エンコーダー2の上にあるサブ・ディスプレイの表示も更新されることを確認してください。

手順9 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押します。



MIDIチャンネルの設定ページが表示されます。手順8でエンコーダー2の設定をしたので、ここではエンコーダー2のMIDIチャンネルを設定することになります。

手順10 メイン・エンコーダーで、設定したいチャンネルを選びます。

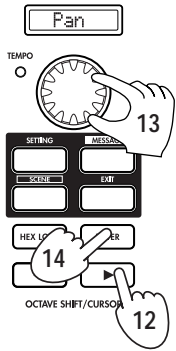
次はエンコーダー1のMIDIチャンネルを設定します。

手順11 手順7では設定したいエンコーダーの選択ページまで戻りましたが、設定したいエンコーダーを直接回しても設定することができます。エンコーダー1を回すと、メイン・ディスプレイの表示もエンコーダー1の内容に切り替わります。

MIDIメッセージの選択ページ等でも、この方法で簡単にアサイン設定を変えることが可能です。サブ・ディスプレイの表示を確認しながら同時に複数のエンコーダーの設定を変更することができます。

**note** この方法はスライダーでも有効です。





手順12 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押します。  
名前を入力するページが表示されます。

手順13 名前を入力するには、メイン・エンコーダー、パッド、エンコーダーまたはスライダーの3つの方法があります。名前は8文字まで入力することができます。それぞれの名前の入力方法は、「名前を入力する」(p.22)を参照してください。8文字目にカーソルがくると、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーは赤く点灯し、[ENTER]キーが点滅します。

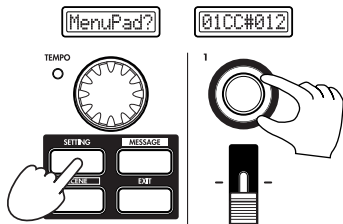
手順14 名前の入力終了したら、[ENTER]キーを押して設定を更新します。  
設定が更新されると、Playモードに戻ります。  
途中のページで[ENTER]キーを押すと、キーが押された時点での設定に更新されます。

**note** RPN、NRPNをアサインした場合には、ページの構成が異なります。(p.21)

他のコントローラーに関しても、同様にページごとに設定を行って、1つのシーンを作成してみてください。他のコントローラーの設定に関しては「Settingモード」(p.19)を参照してください。

### クイック・アサイン

エンコーダーとスライダーで、コントロール・チェンジ・ナンバーのみを変更したい場合は、より簡単にアサインを設定できます。

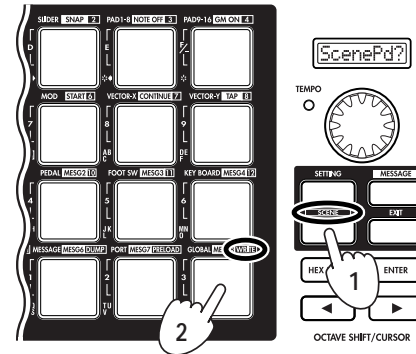


[SETTING]キーを押しながら、設定したいエンコーダーまたはスライダーを操作してください。サブ・ディスプレイの表示が変わりコントロール・チェンジ・ナンバーが選択できます。

[SETTING]キーを離すと、設定が更新されPlayモードに戻ります。  
設定をキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。詳しい操作方法は「コントロール・チェンジのクイック・アサイン」(p.23)を参照してください。

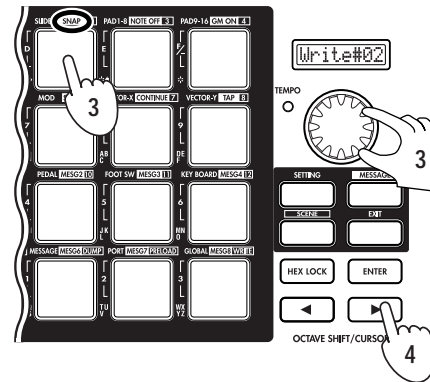
## 4. シーンの設定

変更したコントローラーの設定を保存していない状態では、別のシーンを選択したり、電源を切ってしまうと、変更した内容がクリアされてしまいます。アサインを設定したコントローラーのシーン・パラメーターを、再度設定しなくてすむように、新しいシーンとして保存しましょう。



シーンの保存は、Sceneモードで行います。(p.55)

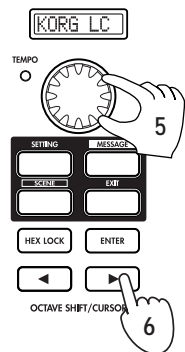
手順1 [SCENE]キーを押します。  
手順2 [SCENE]キーを押したまま、[WRITE]が割り当てられているパッド[16]を押すとWRITEページに入ります。



ここでは、シーン2に新しいシーンを保存してみましょう。

手順3 パッド[2]を押すか、メイン・エンコーダーでシーン・ナンバー2を選びます。

手順4 選択し終えたら、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して次のページに進んでください。

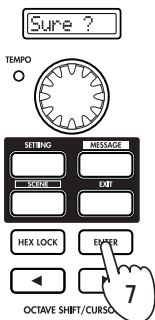


シーンの名前を入力するページが表示されます。

**手順5** メイン・エンコーダー、パッド、エンコーダーまたはスライダーでシーン名を入力します。

名前は8文字まで入力することができます。シーン名の入力方法は、「名前を入力する」(※p.22)を参照してください。

**手順6** 名前を入力し終わったら、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーまたは[ENTER]キーを押して、次のページに進んでください。



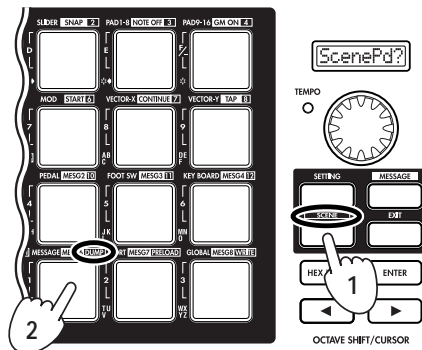
**手順7** 確認のページが表示されます。保存するときは、[ENTER]キーを押します。

保存が完了すると、メイン・ディスプレイに“Complete”と表示されPlayモードに戻ります。

保存を途中でキャンセルする場合は、[EXIT]キーを押してください。

## 5. シーン・セットのコンピューターでの管理

付属のエディター・ライブラリアン・ソフトを使って、KONTROL49に保存されている12個のシーンを1セットとして、コンピューターに保存または編集、管理することができます。



エディター・ライブラリアン・ソフトとのやりとりは、SceneモードのDUMPページで行います。(※p.53)

**手順1** [SCENE]キーを押します。メイン・ディスプレイには“ScenePd?”と表示されます。

**手順2** [SCENE]キーを押したまま、[DUMP]割り当てられているパッド[14]を押します。DUMPページに入ります。

KONTROL49エディター・ライブラリアン・ソフトを立ち上げて、“Receive”ボタンを押してKONTROL49に保存されているシーン・セットを取り込みます。

その後、“Save”ボタンを押し、シーン・セットに名前を付けてファイルとして保存します。こうして作成したファイルを、様々な場面に応じてKONTROL49にロードして使用してください。エディター・ライブラリアン・ソフトの使い方については、付属のCD-ROMに収められている「エディター・ライブラリアン・ソフト 取扱説明書」をご覧ください。

## Playモード

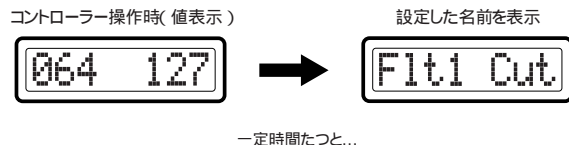
Playモードでは、搭載されている様々なコントローラーを使って、接続した機器やコンピュータ上のソフト・シンセ、DAWをコントロールします。

KONTROL49の電源を入れたときは、常にPlayモードに入ります。メイン・ディスプレイには、現在のシーン名が表示されます。通常は、前回最後に選択されたシーンになります。



この状態からメイン・エンコーダー、パッド、ベクター・ジョイスティック、ピッチ・ベンド・ホイール、モジュレーション・ホイール、スイッチ1、スイッチ2、ペダルのいずれかを操作すると、メイン・ディスプレイにはそのコントローラーにアサインされているMIDIメッセージと値が表示されます。(※p.13「コントローラーの操作」)

サブ・ディスプレイには、各エンコーダーに設定した名前が表示されます。エンコーダー、スライダのいずれかを操作すると、両方のコントローラーの値が表示されます。操作後、1秒ほどたつと最後に操作したコントローラーに設定した名前が表示されます。



**note** 通常、各サブ・ディスプレイには、エンコーダーまたはスライダのどちらか一方の名前が表示されます。両方を一度に表示することはできません。表示されていない方の名前を確認したいときは、[ENTER]キーを押します。

**note** メイン・ディスプレイとサブ・ディスプレイのバック・ライトの色は変更が可能です。(※p.46「Settingモード-[16] Global setting」)

## コントローラーの操作

Playモードでは、7種類のコントローラーを操作できます。

### 1. エンコーダー、スライダ

操作するたびにアサインしたMIDIメッセージが送信されます。

#### ディスプレイの表示

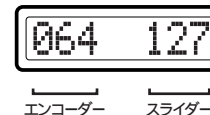
エンコーダー、スライダを操作すると、サブ・ディスプレイに現在の値が表示されます。電源を入れたときは、エンコーダーにアサイン設定している名前が表示されます。MIDIメッセージが何もアサインされていない場合は、「NoAssign」と表示されます。

例:コントロール・チェンジ・アサイン(パン・メッセージ)



この状態からスライダまたはエンコーダーのいずれかを操作すると、両方のコントローラーの値が表示されます。操作していない方のコントローラーの値は、現在の位置での値が表示されます。MIDIメッセージをアサインしていない場合には、「---」と表示されます。

HEX LOCKキー Off(10進数表示)



HEX LOCKキー On(16進数表示)



操作したコントローラーによって、サブ・ディスプレイのバック・ライトの色が変わります。初期値ではスライダを操作したときは緑、エンコーダーを操作したときは赤になります。操作後、1秒ほどたつと最後に操作したコントローラーに設定した名前が表示されます。

**note** Playモードでエンコーダーを操作したときの値は、シーンごとに記憶されます。その値は電源を切ると初期化されます。

**note** [EXIT]キーを押しながらコントローラーを操作すると、サブ・ディスプレイの表示はアサイン設定した名前に切り替わらずコントローラーの値が常に表示されるので、確認しながら値をかえることができます。

**note** サブ・ディスプレイのバック・ライトの色は変更が可能です。(※p.46「Settingモード - [16] Global setting」)

### エンコーダー、スライダーに関する設定

- ・エンコーダーへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.20「Settingモード - [1] Encoder assignment」)
- ・スライダーへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.24「Settingモード - [2] Slider assignment」)
- ・アサインしたMIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(※p.44「Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting」)

## 2. トリガー・パッド

パッドを押すたびに、アサインされたノート・データまたはコントロール・チェンジを送信します。

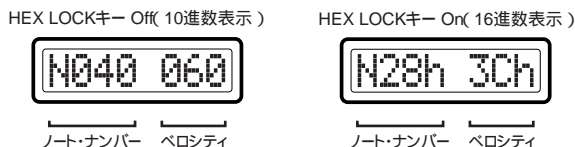
ノート・データをアサインしたパッドでは、ベロシティも送信します。(※p.24「Settingモード - [3] PAD 1-8 assignment」または※p.26「Settingモード - [4] PAD 9-16 assignment」)

コントロール・チェンジをアサインしたパッドでは、0または127の値を送信します。

### ディスプレイの表示

ノート・データのアサイン時

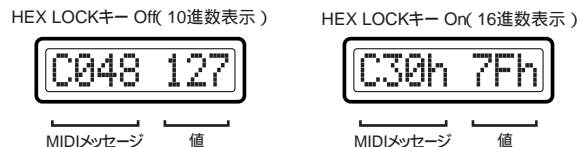
パッドを押すと、送信したノート・ナンバーとベロシティ値がメイン・ディスプレイに表示されます。



ノート・データのアサイン時は、送信時にパッドが赤でワンショット(1回)点灯します。

コントロール・チェンジのアサイン時

パッドを押すと、送信したコントロール・チェンジの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。



コントロール・チェンジのアサイン時はパッドが緑に点灯しています。パッドの動作タイプをモーメンタリー(Momentary)にした場合は、パッドを押して127の値を送信したときにオレンジに点灯します(0を送信すると再び緑に点灯)。パッドの動作タイプをトグル(Toggle)にした場合は、パッドを押すたびに緑とオレンジの点灯を繰り返します。

**note** パッドの点灯状態の変更が可能です。(※p.46「Settingモード - [16] Global setting」)

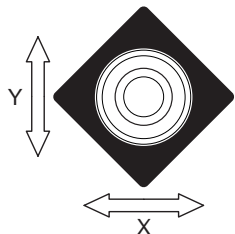
### トリガー・パッドに関する設定

- ・トリガー・パッドへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.24「Settingモード - [3] PAD 1-8 assignment」または※p.26「Settingモード - [4] PAD 9-16 assignment」)
- ・MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(※p.44「Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting」)
- ・MIDIメッセージ送信時にパッドの点灯について設定します。(※p.46「Settingモード - [16] Global setting」)

### 3. ベクター・ジョイスティック

ベクター・ジョイスティックを操作するたびに、アサインしているMIDIメッセージが送信されます。前後( Y )左右( X )各方向にMIDIメッセージをアサインできます。

前後左右の各方向では、操作に従ってアサインしたMIDIメッセージの値を0 ~ 127の範囲で送信します。



#### ディスプレイの表示

ベクター・ジョイスティックを操作すると、メッセージの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。

**note** コントロール・チェンジをアサインした場合、[HEX LOCK]キーをオン( キーが赤く点灯 )にすることによって、MIDIメッセージの内容を16進数で表示させることができます。

ベクター・ジョイスティック操作時

コントロール・チェンジをアサインしたときは、0 ~ 127の範囲で値が表示されます。

コントロール・チェンジ・アサイン時



X方向の値 X方向の値

MIDIメッセージがアサインされていない( NoAssign )場合は、ベクター・ジョイスティックを操作してもメイン・ディスプレイの表示は変わりません( シーン名のままです )。

#### ベクター・ジョイスティックに関する設定

- ベクター・ジョイスティックの左右方向へのMIDIメッセージのアサイン等を行います。( ≪p.31「 Settingモード - [7] Vector-X assignment 」 )
- ベクター・ジョイスティックの前後方向へのMIDIメッセージのアサイン等を行います。( ≪p.32「 Settingモード - [8] Vector-Y assignment 」 )
- MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。( ≪p.44「 Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting 」 )

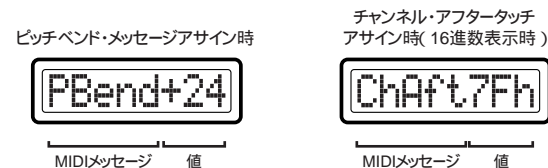
### 4. ピッチ・ベンド・ホイール、モジュレーション・ホイール

操作するたびに、アサインされているMIDIメッセージを送信します。ピッチ・ベンド・ホイールは、UP/DOWN全体を使って1つのパラメーターをアサインする方法と、UPとDOWNを個別のパラメーターをアサインする方法のいずれかを選びます。

#### ディスプレイの表示

ピッチ・ベンド・ホイールまたはモジュレーション・ホイールを操作すると、メッセージの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。

**note** アサインしているMIDIメッセージによっては、[HEX LOCK]キーをオン( キーが赤く点灯 )にすることによって、MIDIメッセージの内容を16進数で表示させることができます。

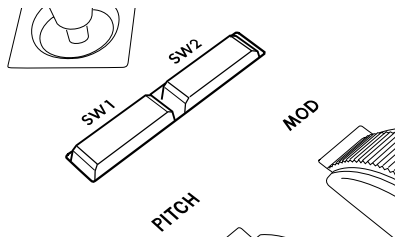


## ピッチ・ベンド・ホイール、モジュレーション・ホイールに関する設定

- ・ピッチ・ベンド・ホイールのMIDIメッセージのアサイン等を行います。( ④p. 26 「 Settingモード - [5] Pitch Bend Wheel assignment 」 )
- ・モジュレーション・ホイールのMIDIメッセージのアサイン等を行います。( ④p. 30 「 Settingモード - [6] Modulation Wheel assignment 」 )
- ・MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。( ④p.44 「 Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting 」 )

## 5. スイッチ 1、スイッチ 2

スイッチ 1 またはスイッチ 2 を操作するたびに、アサインされているMIDIメッセージを送信します。スイッチ 1、2 は、1パラメーター設定( Inc/Dec形式 )、または2パラメーター設定( SW×2形式 )で使用するか選択が可能です。1パラメーター設定の場合、スイッチ 1、2 を押すと、アサインしたMIDIメッセージの値が1ずつ可変します。2パラメーター設定の場合、スイッチ 1、2 を押すと、それぞれアサインしたMIDIメッセージが送信されます。



### ディスプレイの表示

スイッチ 1 またはスイッチ 2 を押すと、メッセージの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。

**note** アサインしているMIDIメッセージによっては、[HEX LOCK]キーをオン( キーが赤く点灯 )にすることによって、MIDIメッセージの内容を16進数で表示させることができます。

プログラム・チェンジ・アサイン時



MIDIメッセージ 値

16進数表示時



MIDIメッセージ 値

MIDIメッセージがアサインされていない( NoAssign )場合は、スイッチ 1 またはスイッチ 2 を押してもメイン・ディスプレイの表示は変わりません( シーン名のままです )。2パラメーター設定の場合には、スイッチを押して127の値を送信したときにスイッチが点灯します。

**note** 1パラメーター設定時は、スイッチ 1 とスイッチ 2 を同時に押すと値がリセットします。

### スイッチ 1、スイッチ 2 に関する設定

- ・スイッチ 1、2 へのMIDIメッセージのアサイン等を行います。( ④p.32 「 Settingモード - [9] SW1/SW2 assignment 」 )
- ・MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。( ④p.44 「 Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting 」 )

## 6. ペダル( PEDAL 端子、SWITCH 端子)

PEDAL端子、SWITCH端子に接続したフット・コントローラーやダンパー・ペダルなどを操作するたびに、アサインされたMIDIメッセージを送信します。ペダルを操作した場合は0 ~ 127の値が、スイッチを操作した場合は0または127の値が送信されます。

### ディスプレイの表示

接続したペダルを操作すると、メッセージの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。

コントロール・チェンジ・アサイン時



MIDIメッセージ 値

ダンパー・アサイン時



MIDIメッセージ 値

MIDIメッセージが何もアサインされていない( NoAssign )場合は、ペダルを操作してもメイン・ディスプレイの表示は変わりません( シーン名のままです )。

## ペダルに関する設定

- ペダルへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.35「Settingモード - [10] PEDAL assignment」、※p.36「Settingモード - [11] FOOT SW assignment」)
- MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(※p.44「Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting」)
- 接続したペダル・スイッチの極性、ペダルの有効可能範囲を設定します。(※p.46「Settingモード - [16] Global setting」)

## 7. メイン・エンコーダー

MIDIクロックのテンポ調整や、プログラム・チェンジを送信します。  
テンポ調整では、接続した機器やアプリケーションをKONTROL49のMIDIクロックに同期させたときに、メイン・エンコーダーでコントロールします。テンポの調整範囲は、Clock Off、020 ~ 300です。メイン・エンコーダーにテンポ調整をアサインした場合、Clock OffにするとMIDIクロックを送信しません。MIDIクロックは、MessageモードでのMIDIメッセージを送信するポートから送信します。(※p.44「Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting」)プログラム・チェンジをアサインした場合、1 ~ 128の範囲で値を送信します。また、バンク・セレクトを含んだプログラム・チェンジを送信することも可能です。メイン・エンコーダーに以下のMIDIメッセージをアサインした場合、[SETTING]キー、[MESSAGE]キー、[EXIT]キーを押すと、次のように動作します。

MIDIメッセージ	[SETTING]キー	[MESSAGE]キー	[EXIT]キー
NoAssign	何も変化はしない		
TempoChg	小数点編集	離れたときにTempoを切り替え	Tempoを常に表示
ProgChg	何も変化はしない	離れたときにProg#を送信	Prog#を常に表示
PChg&BS	MSB/LSB編集	離れたときにProg#&BSを送信	Prog#を常に表示

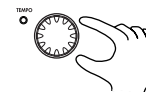
(※p.39「Settingモード - [13] Main Encoder assignment」)

**note** MIDIクロックのテンポは、電源を入れたときは、常に120に設定されます。

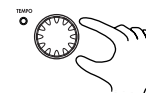
**note** テンポをアサインした場合は、[SETTING]キーを押しながらメイン・エンコーダーを回すと、テンポを小数点第一位の単位で調整することができます。このときの調整範囲は20.0 ~ 300.0となります。  
また、プログラム・チェンジ&バンク・セレクトをアサインしたときに、[SETTING]キーを押しながらメイン・エンコーダーを回すと、バンク・セレクトのMSBまたはLSBを編集することができます。

## ディスプレイの表示

Settingモードでテンポ・チェンジを設定した場合、メイン・エンコーダーを回すと、MIDIクロックのテンポがメイン・ディスプレイに表示されます。また、メイン・エンコーダーの左上にあるTEMPO LEDは、設定したMIDIクロックのテンポに対して4分音符のタイミングで点滅します。



Settingモードでプログラム・チェンジまたはプログラム・チェンジ&バンク・セレクトを設定した場合、メイン・エンコーダーを回すと、プログラム・チェンジ・ナンバーがメイン・ディスプレイに表示されます。



## メイン・エンコーダーに関する設定

- メイン・エンコーダーへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.39「Settingモード - [13] Main Encoder assignment」)
- MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(※p.44「Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting」)

**note** Messageモードの[8]Tapで、パッド[8]を設定したいタイミングに合わせて押すことによって、好みのテンポに設定することができます。(※p.51「Messageモード - [8] Tap (Tap message)」)

## 8. 鍵盤

鍵盤を弾くたびに、ノート・データをキーボードMIDIチャンネル( 38 )で送信します。

### オクターブの調整

OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]または[▶]キーで、鍵盤の音域をオクターブ単位で調整できます。シフトした設定から±0に戻すときは、[◀]と[▶]キーを同時に押します。

- 1 [▶]キーを押すたびに、音域が1オクターブずつ上にシフトします。現在の設定を[▶]キーの点灯する色で表示します。

消灯: ±0 オクターブ

緑: +1 オクターブ

オレンジ: +2 オクターブ

赤: +3 オクターブ

- 2 [◀]キーを押すたびに、音域が1オクターブずつ下にシフトします。現在の設定を[◀]キーの点灯する色で表示します。

消灯: ±0 オクターブ

緑: -1 オクターブ

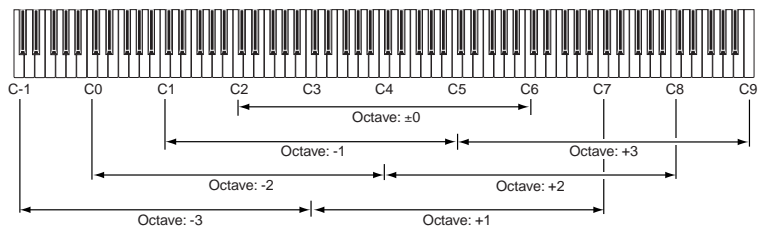
オレンジ: -2 オクターブ

赤: -3 オクターブ

### 鍵盤に関する設定

- ・ ノート・データを送信するMIDIチャンネルを設定します。( 38「 Settingモード - [12] KEYBOARD setting 」)
- ・ 半音単位で鍵盤のトランスポーズを変更します。( 38「 Settingモード - [12] KEYBOARD setting 」)
- ・ ペロシティ・カーブを設定します。( 38「 Settingモード - [12] KEYBOARD setting 」)
- ・ ノート・データを送信するUSB-MIDIポートを設定します。( 44「 Settingモード - [15] USB-MIDI Port setting 」)

オクターブ・シフト・キーによる発音範囲





## Setting モード

コントローラーのシーン・パラメーター(各コントローラーのアサイン設定等)とグローバル・パラメーター(全体に関わる設定)を設定します。

Setting モードは、16 のページに分かれています。

[SETTING]キーを押しながら(メイン・ディスプレイに“ MenuPad? ”と表示)、以下に示すパッドを押すことによって、設定するパラメーターのページへ移動できます。

また、[EXIT]キーを押しながら[SETTING]キーを押すと、メイン・ディスプレイに“ MenuPad? ”と表示され、ページ選択の待機状態(モード・ロック)になります。

この状態からパッドを押すことによってページを選択できます。

## シーン・パラメーターの設定

パッド[1]~[15]は、シーン・パラメーターを設定するページです。設定後、Sceneモードでの保存が必要です。

パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[1]	Encoder assignment	エンコーダーのアサイン等(※p.21)
パッド[2]	Slider assignment	スライダーのアサイン等(※p.24)
パッド[3]	PAD 1 - 8 assignment	パッド[1]~[8]のアサイン等(※p.24)
パッド[4]	PAD 9 - 16 assignment	パッド[9]~[16]のアサイン等(※p.26)
パッド[5]	Pitch Bend Wheel assignment	ピッチ・バンド・ホイールのアサイン等(※p.26)
パッド[6]	Modulation Wheel assignment	モジュレーション・ホイールのアサイン等(※p.30)
パッド[7]	Vector-X assignment	ベクター・ジョイスティック左右方向のアサイン等(※p.31)
パッド[8]	Vector-Y assignment	ベクター・ジョイスティック前後方向のアサイン等(※p.32)
パッド[9]	SW 1/2 assignment	スイッチ1/スイッチ2のアサイン等(※p.32)
パッド[10]	Pedal assignment	接続したフット・コントローラ等のアサイン等(※p.35)
パッド[11]	Foot SW assignment	接続したダンパー・ペダルやペダル・スイッチのアサイン等(※p.36)
パッド[12]	Keyboard assignment	鍵盤のMIDIチャンネルのアサイン等(※p.38)
パッド[13]	Main Enc assignment	メイン・エンコーダーのアサイン等(※p.39)
パッド[14]	Message assignment	MESSAGEモードでのパッド[9]~[16]をアサイン(※p.41)
パッド[15]	USB-MIDI Port setting	USB-MIDIポートの設定(※p.44)

## グローバル・パラメーターの設定

パッド[16]は、グローバル・パラメーターを設定するページです。ページを抜けたり、別のシーンを選択することによって自動的に保存されます。

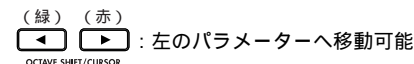
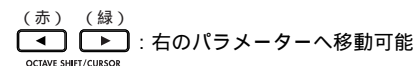
パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[16]	Global setting	ペダルの設定、バックライトの色、パッドの点灯状態の設定(※p.46)

## OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて

Settingモードでは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーがカーソル・キーとなり、パラメーターの移動に使用します。

[SETTING]キーとパッドを押して各ページに入ると、移動できる方向のキーが緑に点灯します。キーが消灯、または赤く点灯している方向へは移動できません。

また、[▶]キーを押しながら[◀]キーを押すと、ページの先頭に戻ります。



ページの最後にくると、[ENTER]キーが点滅します。[ENTER]キーを押すと、設定が更新されPlayモードに戻ります。設定の途中で[ENTER]キーを押すと、その時点での設定が更新され、Playモードに戻ります。

設定を途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。

## [1] ENCODER (Encoder assignment)

Encoder assignment では、エンコーダーへの MIDI メッセージのアサイン、送信する MIDI チャンネル等を設定します。

各エンコーダーにアサインできるメッセージは、コントロール・チェンジ (CC#) と RPN、NRPN です。

### 1 [SETTING] キーを押しながら、パッド [1] を押します。

Encoder assignment に入り、[SETTING] キーとパッド [1] が点灯します。メイン・ディスプレイには「Encoder Select」( MIDI メッセージをアサインするエンコーダーの選択 ) が表示されます。



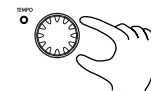
各サブ・ディスプレイには、それぞれのエンコーダーにアサインされている MIDI メッセージと送信 MIDI チャンネルが表示されます。



**note** メイン・ディスプレイでは、選択できるパラメーターや設定値を点滅して表示します。

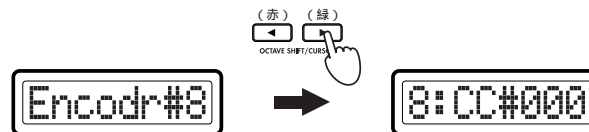
**note** エンコーダーまたはスライダーにアサインされている MIDI メッセージを確認する場合も Setting モードに入り、サブ・ディスプレイで確認します。

### 2 MIDI メッセージをアサインするエンコーダーを、メイン・エンコーダーで選びます。また、アサインするエンコーダーを直接回しても選択できます。



**note** SW1、2 が両方とも点灯している場合には、これらで選択することも可能です。

### 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶] キーを押して、「Message Select」( MIDI メッセージの選択 ) へ移動します。



### 4 アサインする MIDI メッセージをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。

#### NoAsgn (No Assign)

選択したエンコーダーには MIDI メッセージがアサインされません。NoAsgn を選択したときは、[ENTER] キー (点滅) を押して設定を更新します。( 手順 9 )

#### CC#000-127 (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。( 参照 p.56 「使用できる MIDI メッセージ」 )

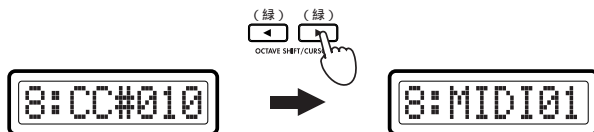
#### NRPN, RPN

NRPN または RPN をアサインします。NRPN または RPN を選択したときは「MSB」と「LSB」を設定します。( 参照 p.21 「NRPN、RPN のアサイン」 )

**note** コントロール・チェンジ、NRPN または RPN、MIDI チャンネルの値はエンコーダー (Slider assignment の場合はスライダー) を直接操作しても設定することもできます。また、現在設定しているエンコーダー (Slider assignment の場合はスライダー) 以外を直接操作しても、そのエンコーダー (Slider assignment の場合はスライダー) に対して設定することができます。このときは操作したエンコーダー (Slider assignment の場合はスライダー) の設定に切り替わり、それに対応したディスプレイのバックライトの色が変わります。

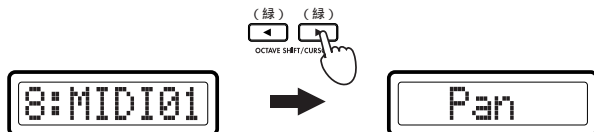
**note** [HEX LOCK]キーを押して16進数での入力も可能です。

- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MIDI Channel”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1～16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Name”(名前の設定)に移動します。



- 任意の名前をつけます。ここで設定した名前は、Playモードでサブ・ディスプレイに表示されます。入力方法は、「名前を入力する」(※p.22)を参照してください。

- [ENTER]キーを押します。設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

## NRPN、RPNのアサイン

“Message Select”でNRPNまたはRPNを選んだ場合は、“MSB”、“LSB”、“MIDI Channel”、“Name”の順に設定します。

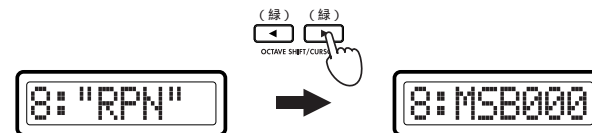
RPN(Registered Parameter No.)は、楽器メーカー等の枠を超えて共通の設定をするためのメッセージです。定義されているメッセージには、RPNファインチューン[Bn, 65, 00, 64, 01]、RPNコースチューン[Bn, 65, 00, 64, 02]、RPNピッチバンド・レンジ[Bn, 64, 00, 65, 00]があります。

NRPN(Non Registered Parameter No.)は、楽器メーカーや機種等で自由に設定できるメッセージです。

- “Message Select”でNRPNまたはRPNを選びます。CChg#127からメイン・エンコーダーを右に回すと選択できます。

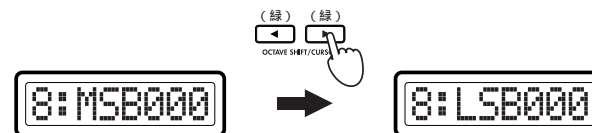


- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MSB”へ移動します。

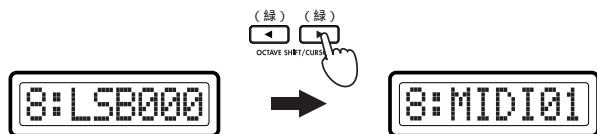


- “MSB”の値をメイン・エンコーダーまたはパッドで入力します。選択範囲は0～127です。

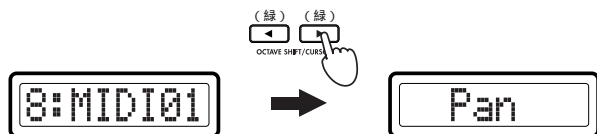
- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“LSB”へ移動します。



- 5 “ LSB ”の値をメイン・エンコーダーまたはパッドで入力します。選択範囲は0 ~ 127です。
- 6 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”( MIDIチャンネルの設定 )へ移動します。



- 7 アサインしたMIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16( ch )です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 8 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Name ”( 名前の設定 )に移動します。



- 9 任意の名前をつけます。ここで設定した名前は、Playモードでサブ・ディスプレイに表示されます。入力方法は、「名前を入力する」(※p.22)を参照してください。
- 10 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。
- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

## 名前を入力する

エンコーダーやスライダーにアサインしたパラメーターは、Settingモードで任意の名前を付けることができます。また、アサインしたシーンには、Sceneモードで任意の名前を付けることができます。

## 入力できる文字

以下の文字が入力可能です。

(ブランク)

```

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
. , ' " - / & ; : = + * # % _ ^ @ ! ? | $ ¥ ( ) [ ] { } < >
    
```

## カーソルの移動

メイン・ディスプレイにカーソルが表示されます。文字上にカーソルがある場合はその文字が点滅します。OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀][▶]キーを押すと、カーソルが移動します。



## テキストの入力方法

テキストの入力には、メイン・エンコーダー、トリガー・パッド、エンコーダー、またはスライダーの3種類の方法があります。以下にそれぞれの入力方法を説明します。

### メイン・エンコーダーによる入力

メイン・エンコーダーを回すと、(ブランク)、H~Z、a~z、1~9、0、記号の順番で文字を選ぶことができます。入力する文字上にカーソルを移動し、メイン・エンコーダーで文字を入力します。

### トリガー・パッドによる入力

各パッドに英数字、記号、ブランクが割り当てられています。インサート(カーソル位置にブランクが挿入)、デリート(カーソル位置の文字を消去して文字が詰まる)、クリア(カーソル位置の文字を消去)が割り当てられています。パッド[5]~[8]、[10]~[16]はパッドを押すごとに文字が切り替わります。入力する文字上にカーソルを移動し、トリガー・パッドで文字を入力、編集します。

[1]	[2]	[3]	[4]	[1] Blank(ブランク)
[5]	[6]	[7]	[8]	[2] Insert(挿入)
[9]	[10]	[11]	[12]	[3] Delete(削除)
[13]	[14]	[15]	[16]	[4] Clear(消去)
				[5] . ' " - / & : ; = + * #
				[6] % _ ^ @ ! ?   \$ ¥ ( ) [ ] { } < >
				[7] a b c A B C
				[8] d e f D E F
				[9] 大文字小文字変換
				[10] g h i G H I
				[11] j k l J K L
				[12] m n o M N O
				[13] 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
				[14] p q r s P Q R S
				[15] t u v T U V
				[16] w x y z W X Y Z

### エンコーダー、スライダーによる入力

ディスプレイに表示される文字は、カーソルの位置に関係なく、スライダーとエンコーダーで入力することができます。ディスプレイの1番左の文字はスライダー1、またはエンコーダー1で入力します。ディスプレイの2番左の文字はスライダー2、またはエンコーダー2で入力します。このように、ディスプレイに表示される8文字を、スライダー1~8、またはエンコーダー1~8で入力します。

ただし、エンコーダーにアサインされたパラメーター名を入力するときは、スライダー1~8を操作します。スライダーにアサインされたパラメーター名を入力するときは、エンコーダー1~8を操作します。

### コントロール・チェンジのクイック・アサイン

Playモードで、エンコーダー( Slider assignmentの場合はスライダー )にアサインされているコントロール・チェンジをすばやく変更することができます。コントロール・チェンジがアサインされているエンコーダー(またはスライダー)に対して有効です。

▲ NRPNまたはRPNがアサインされているエンコーダー(またはスライダー)に対しては無効です。

- 1 Playモードで[SETTING]キーを押しながら、アサインを変更するエンコーダー( Slider assignmentの場合はスライダー )を回してコントロール・チェンジを選びます。サブ・ディスプレイには、エンコーダー(またはスライダー)のアサイン内容が表示されます。



- 2 [SETTING]キーを離す、または他のコントローラーが操作された時点で、変更したコントロール・チェンジに更新されます。設定をキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。

**note** MIDIチャンネルは、Encoder assignment(またはSlider assignment)ページの「MIDI Channel」で設定されているチャンネルになります。

▲ 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード-[16] WRITE」)

## [2] SLIDER (Slider assignment)

スライダーへのMIDIメッセージのアサイン、メッセージを送信するMIDIチャンネル等を設定します。

各スライダーにアサインできるメッセージは、コントロール・チェンジ( CC# )とNRPN、RPNです。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[2]を押します。  
Slider assignmentに入り、[SETTING]キーとパッド[2]が点灯します。メイン・ディスプレイには“ Slider Select (アサイン設定するスライダーを選択)”が表示されます。各スライダーにアサインできる内容、アサイン設定の方法は、エンコーダーの場合と同じです。設定方法は、「Encoder assignment」( p.20 )を参照してください。また、スライダーでもコントロール・チェンジのクイック・アサインが可能です。クイック・アサインの方法もエンコーダーの場合と同じです。「Encoder assignment」の「コントロール・チェンジのクイック・アサイン」を参照してください。

## [3] PAD 1-8 (PAD 1-8 assignment)

PAD 1-8 assignmentでは、パッド[1]～[8]へのMIDIメッセージのアサインや送信するMIDIチャンネル等を設定します。

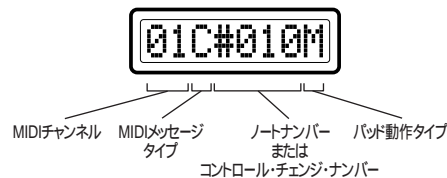
各パッドにアサインできるメッセージは、ノート・メッセージまたはコントロール・チェンジ( CC# )です。コントロール・チェンジをアサインしたときは、そのメッセージの0または127の値を送信します。

また、パッドのベロシティ設定はシーンごとにもつことができます。ベロシティ・タイプは、パッドを叩く強さによって段階的にベロシティ値を送信するか、強弱に関係なく固定値で送信するかのどちらかに設定できます。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[3]を押します。  
PAD 1-8 assignmentに入り、[SETTING]キーとパッド[1]～[8]のパッドが点灯または点滅します。メイン・ディスプレイには“ PAD# 01 (アサイン設定するパッドの選択)”と表示されます。



サブ・ディスプレイ1～8には、それぞれパッド[1]～[8]にアサインされている送信MIDIチャンネル、MIDIメッセージ、パッドの動作タイプの設定が表示されます。



- note** ここで、例えば5番のエンコーダーまたはスライダーを操作すると、PAD#5が選択されメイン・ディスプレイに“ PAD# 05 ”と表示されます。

- 2 アサイン設定するパッドをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。パッドで選ぶときは、パッドを直接押します。アサイン設定するパッドが点滅します。



- note** SW1、2が両方も点灯している場合には、これらでアサイン設定するパッドを切り替えることができます。

これ以降のMIDIメッセージのタイプ、ノート・ナンバーまたはコントロール・チェンジ・ナンバーを設定するページでは、番号に対応するエンコーダー、またはスライダーでパラメーターを選んだり、数値を変えることができます。スライダーで大きく値を動かす、エンコーダーで微調整するようにすると素早く値を変えることができます。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Message Select (MIDIメッセージの選択)”へ移動します。



- 4 MIDIメッセージのタイプをメイン・エンコーダーで選びます。

**NoAssign**

選択したパッドにはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選択したときは、[ENTER]キー(点滅)を押して設定を更新します。(☞手順14)

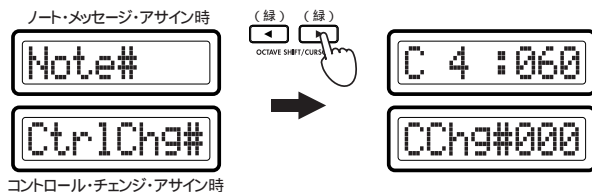
**Note# (Note message)**

ノート・メッセージをアサインします。

**CtrlChg# (Control Change)**

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg#を選択したときは、コントロール・チェンジ・ナンバーを選択します。(☞p.30「コントロール・チェンジのアサイン」)

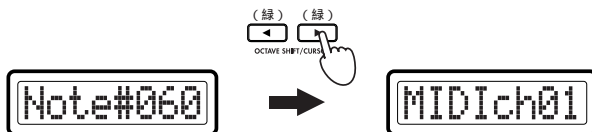
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Note Select” (ノート・ナンバーの選択)または“ Control Change Select” (コントロール・チェンジ・ナンバーの選択)へ移動します。



- 6 ノート・ナンバーまたはコントロール・チェンジ・ナンバーをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は0 ~ 127です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」、☞p.56「使用できるMIDIメッセージ」)

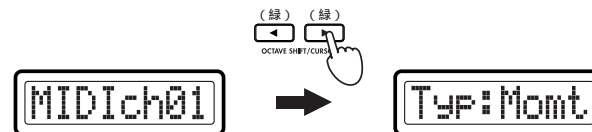
**note** ノート・メッセージのアサイン時に鍵盤を押すと、そのノート・ナンバーが現在のパッドにアサインされます。

- 7 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel” (MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 8 送信MIDIチャンネルをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 9 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ PAD Type” (パッドの動作を選択)へ移動します。



- 10 パッドを押したときの動作タイプをメイン・エンコーダーで設定します。

**Momt (Momentary)**

パッドにコントロール・チェンジをアサインした場合、パッドを押したときにアサインしたコントロール・チェンジの127を、戻したときに0の値を送信します。パッドにノート・メッセージをアサインした場合、パッドを押したときにノート・オンを、戻したときにノート・オフを送信します。

**Tgle (Toggle)**

パッドにコントロール・チェンジをアサインしたときは、パッドを押すたびにアサインしたMIDIメッセージの127と0の値を交互に送信します。パッドにノート・メッセージをアサインしたときは、パッドを押すたびにノート・オンとノート・オフを交互に送信します。

- 11 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Velocity Type” (ベロシティタイプを選択)へ移動します。

- 12 ベロシティ・タイプをメイン・エンコーダーで選びます。

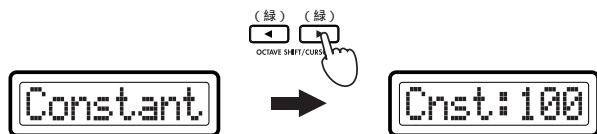
**VelSens (Velocity Sens)**

パッドを叩く強さによって、段階的にベロシティ値を送信します。(VelSensを選んだときは、[ENTER]キー(点滅)を押して設定を保存します。)

**Constant**

パッドを叩くと、設定したベロシティ値を送信します。

- 13 “Velocity Type”でConstantを選んだときは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Constant” (ペロシティ値の設定)へ移動し、ペロシティ値をメイン・エンコーダーで設定します。設定範囲は、1 ~ 127 です。



**note** ペロシティの設定は、パッド1～8、パッド9～16にかかわらず、すべてのパッドに関して共通となります。

- 14 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。  
Playモードでは、コントロール・チェンジがアサインされているパッドは緑に点灯し、ノート・メッセージがアサインされている、またはNoAssignが選択されているパッドは消灯します。

更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55 「Sceneモード - [16] WRITE」)

## [4] PAD 9-16 (PAD 9-16 assignment)

PAD 9-16 assignmentでは、パッド[9]～[16]へのMIDIメッセージのアサインや送信するMIDIチャンネル等を設定します。

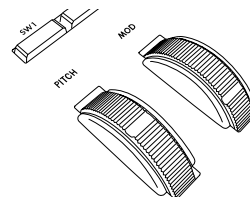
- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[4]を押します。  
PAD 9-16 assignmentに入り、[SETTING]キーと[9]～[16]のパッドが点灯または点滅します。メイン・ディスプレイには“PAD# 09” (アサイン設定するパッドの選択)と表示されます。  
PAD 9-16 にアサインできる内容、設定の方法は、PAD 1-8の場合と同じです。設定方法は、「PAD 1-8 assignment」(※p.24)を参照してください。

## [5] PITCH (Pitch Bend Wheel assignment)

Pitch Bend Wheel assignmentでは、ピッチ・バンド・ホイールの±(UP、DOWN)方向へのMIDIメッセージのアサインや、送信するMIDIチャンネル等を設定します。また、+(UP)と-(DOWN)方向個別にMIDIメッセージのアサインも可能です。

### +、- 方向で1つのMIDIメッセージをアサインする

ピッチ・バンド・ホイールのUP、DOWN方向全域に、ひとつのMIDIメッセージをアサインします。アサインできるメッセージは、ピッチ・バンド、マスター・バランス、アフタータッチ、ペロシティ、コントロール・チェンジ(CC#)です。



- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[5]を押します。  
Pitch Bend Wheel assignmentに入り、[SETTING]キーとパッド[5]が点灯します。メイン・ディスプレイには“Assignment Select” (アサイン方法の選択)が表示されます。  
“Assignment Select”では、±方向の操作範囲に1つのMIDIメッセージをアサインするか、+方向と-方向それぞれ個別にMIDIメッセージをアサインするかを設定します。





- 2 ピッチ・バンド・ホイールのアサイン方法をメイン・エンコーダーで選びます。  
ここでは、UP-DOWNを選びます。

**UP-DOWN**

±方向全体の操作範囲に1つのMIDIメッセージをアサインします。

**UP/DOWN**

+方向と-方向でそれぞれ個別にMIDIメッセージをアサインします。(※p.28「+方向と-方向で別々のMIDIメッセージをアサインする」)

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Message Select”(MIDIメッセージの選択)へ移動します。



- 4 アサインするMIDIメッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

**NoAssign**

ピッチ・バンド・ホイールの±方向にはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。(※手順7)

**PitchBnd (PitchBend)**

ピッチ・バンドをアサインします。PitchBndを選択したときは、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“MIDI Channel”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。(※手順5)

Playモードではバンド操作時、メイン・ディスプレイに“PBend...”と表示されます。

**MastrBal (Master Balance)**

マスター・バランスをアサインします。マスター・バランス[F0, 7F, 7F, 04, 02, vv, mm, F7](デバイスIDは7Fh固定)を送信します。MastrBalを選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。(※手順7)

Playモードではピッチ・バンド・ホイール操作時、メイン・ディスプレイに“MstBl...”と表示されます。

**A.Touch (AfterTouch)**

鍵盤のアフタータッチをアサインします。A.Touchを選択したときは、アフタータッチの種類を選択します。(※p.29「アフタータッチのアサイン」)

**Velocity**

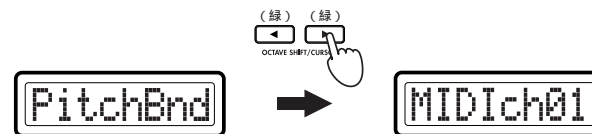
鍵盤またはパッドのペロシティをアサインします。Velocityを選択したときは、ペロシティ・タイプを選択します。(※p.29「ペロシティのアサイン」)

- Velocityをアサインした場合は、Key Curveなどの設定は無効になります。

**CtrlChg# (Control Change)**

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg#を選択したときは、コントロール・チェンジ・ナンバーを選択します。(※p.30「コントロール・チェンジのアサイン」)

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MIDI Channel”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 6 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1~16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 7 [ENTER]キーを押します。

設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード-[16]WRITE」)

## +方向と-方向で別々のMIDIメッセージをアサインする

ピッチ・ベンド・ホイールの+、-方向に個別にMIDIメッセージをアサインします。アサインできるメッセージは、アフタータッチ、ペロシティ、コントロール・チェンジ(CC#)です。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[5]を押して Pitch Bend Wheel assignment に入り、“Assignment Select”でUP/DOWNを選びます。



- 2 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“UP/DOWN Select”(アサイン設定する方向の選択)へ移動します。



- 3 +方向、-方向のどちらをアサイン設定するかをメイン・エンコーダーで選びます。

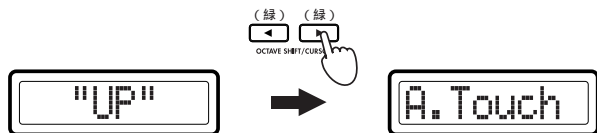
UP

+方向を設定。

DOWN

-方向を設定。

- 4 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Message Select”(MIDIメッセージの選択)へ移動します。



- 5 アサインするMIDIメッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

NoAssign

設定している方向にはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。(☞手順8)

A.Touch (AfterTouch)

鍵盤のアフタータッチをアサインします。A.Touchを選択したときは、アフタータッチの種類を選択します。(☞p.29「アフタータッチのアサイン」)

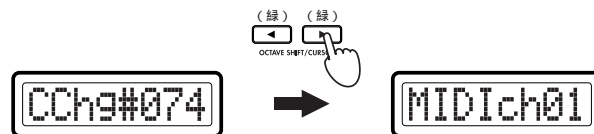
Velocity

鍵盤またはパッドのペロシティをアサインします。Velocityを選択したときは、ペロシティの種類を選択します。(☞p.29「ペロシティのアサイン」)

CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg#を選択したときは、コントロール・チェンジ・ナンバーを選択します。(☞p.30「コントロール・チェンジのアサイン」)

- 6 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MIDI Channel”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 7 アサインしたMIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1~16(ch)です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について-数値の入力」)

- 8 OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して“UP/DOWN Select”へ戻り、もう一方の方向も同様に設定します。(☞手順3~7)

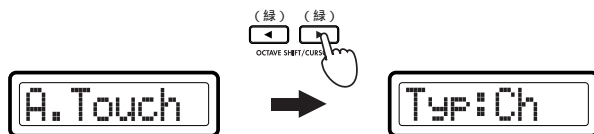
- 9 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(☞p.55「Sceneモード-[16]WRITE」)

## アフタータッチのアサイン

“ Message Select ”でA.Touchを選んだときは、“ Pressure Type ”でアフタータッチ・タイプを選択し、“ MIDI Channel ”( MIDIチャンネルの設定 )へ進みます。

- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して“ Pressure Type ”( アフタータッチ・タイプの選択 )へ移動します。



- 2 アフタータッチのタイプをメイン・エンコーダーで選びます。

### Ch (Channel AfterTouch)

チャンネル・アフタータッチ。押された鍵盤すべてに対してアフタータッチが有効になります。

Playモードでは、ピッチ・バンド・ホイールまたはモジュレーション・ホイール操作時に、メイン・ディスプレイに“ ChAft...”と表示されます。

### Last (Polyphonic key pressure)

ポリフォニック・キー・プレッシャー。複数押された鍵盤のうち、最後に押された鍵盤に対してアフタータッチが有効になります。

Playモードでは、ピッチ・バンド・ホイールまたはモジュレーション・ホイール操作時に、メイン・ディスプレイに“ PyAft...”と表示されます。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”( MIDIチャンネルの設定 )へ移動します。

- 4 OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して“ UP/DOWN Select ”へ戻り、もう一方の方向も同様に設定します。( ≪p.28「 + 方向と - 方向で別々のMIDIメッセージをアサインする」手順3 ~ 7 )

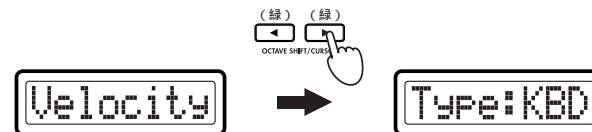
- 5 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。( ≪p.55「 Sceneモード - [16] WRITE 」)

## ベロシティのアサイン

“ Message Select ”でVelocityを選んだときは、“ Velocity Type ”でベロシティ・タイプを選択し、設定を更新します。

- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して“ Velocity Type ”( ベロシティ・タイプの選択 )へ移動します。



- 2 ベロシティ・タイプをメイン・エンコーダーで選びます。

ここでの設定は、PAD1 ~ 8、PAD9 ~ 16、Keyboard Settingでのベロシティに関する設定よりも優先されます。

Playモードでのピッチ・バンド・ホイールまたはモジュレーション・ホイールの操作によってベロシティ値を決定します。ベロシティ値が0の場合には、“ KbdOnVel ”または“ PadOnVel ”と表示され、鍵盤またはパッドの設定でベロシティ値を送信します。

### KBD (Keyboard)

鍵盤のベロシティをアサインします。

Playモードでは、ピッチ・バンド・ホイールまたはモジュレーション・ホイール操作時に、メイン・ディスプレイに“ KyVel...”と表示されます。

### PAD (Pad)

パッドのベロシティをアサインします。このとき、ピッチ・バンド・ホイールまたはモジュレーション・ホイールでコントロールするベロシティの送信MIDIチャンネルは、パッドで設定しているMIDIチャンネルとなります。

Playモードでは、ピッチ・バンド・ホイールまたはモジュレーション・ホイール操作時に、メイン・ディスプレイに“ PdVel...”と表示されます。

- 3 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。( ≪p.55「 Sceneモード - [16] WRITE 」)

## コントロール・チェンジのアサイン

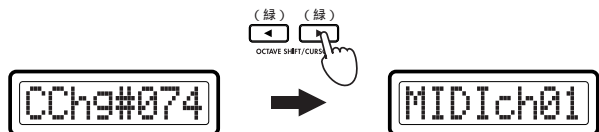
“ Message Select ”でCtrlChg#を選んだときは、“ Control Change Select ”でコントロール・チェンジを選択し、“ MIDI Channel ”( MIDIチャンネルの設定 )へ進みます。

- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Control Change Select ”( コントロール・チェンジ・ナンバーの選択 )へ移動します。



- 2 コントロール・チェンジ・ナンバーをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。選択範囲は、0 ~ 127 です。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”( MIDIチャンネルの設定 )へ移動します。



- 4 送信MIDIチャンネルをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は 1 ~ 16( ch )です。

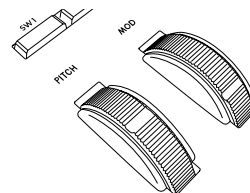
- 5 [ENTER]キーを押します。設定が更新され、Play モードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。( 55p.55 「 Sceneモード - [16] WRITE 」)

## [6] MOD (Modulation Wheel assignment)

Modulation Wheel assignmentでは、ホイールへのMIDIメッセージのアサインや送信するMIDIチャンネル等を設定します。

ホイールにアサインできるメッセージは、アフタータッチ、ベロシティ、コントロール・チェンジ( CC# )です。



- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[6]を押します。Modulation Wheel assignmentに入り、[SETTING]キーとパッド[6]が点灯します。メイン・ディスプレイには“ Assignment Select ”( アサイン方法の選択 )が表示されます。

- 2 アサインするMIDIメッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

### NoAssign

モジュレーション・ホイールにはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。( 55p.55 手順 5 )

### A.Touch (AfterTouch)

鍵盤のアフタータッチをアサインします。A.Touchを選択したときは、アフタータッチの種類を選択します。( 55p.29 「アフタータッチのアサイン」 )

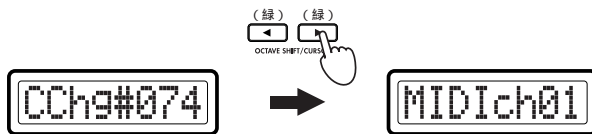
### Velocity

鍵盤またはパッドのベロシティをアサインします。Velocityを選択したときは、ベロシティ・タイプを選択します。( 55p.29 「ベロシティのアサイン」 )

### CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg#を選択したときは、コントロール・チェンジ・ナンバーを選択します。( 55p.30 「コントロール・チェンジのアサイン」 )

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「MIDI Channel ( MIDIチャンネルの設定 )へ移動します。



- 4 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16( ch )です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

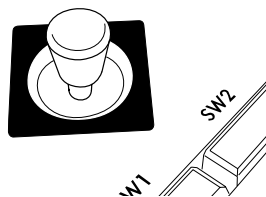
- 5 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- ⚠ 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

## [7] VECTOR-X (Vector-X assignment)

Vector-X assignmentでは、ベクター・ジョイスティックX方向へのMIDIメッセージのアサイン等を設定します。

ベクター・ジョイスティックX方向にアサインできるメッセージは、コントロール・チェンジ ( CC# )です。



- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[7]を押します。  
Vector-X assignmentに入り、[SETTING]キーとパッド[7]が点灯します。メイン・ディスプレイには「Message Select ( MIDIメッセージの選択 )が表示されます。

- 2 アサインするMIDIメッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

### NoAssign

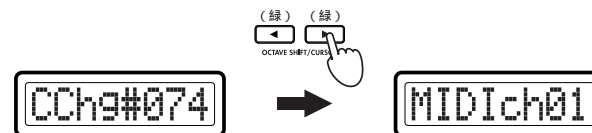
ベクター・ジョイスティックX方向にはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。(※手順6)

### CChg#000-127 (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。

- 3 コントロール・チェンジ・ナンバーを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。選択範囲は、0 ~ 127です。

- 4 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「MIDI Channel ( MIDIチャンネルの設定 )へ移動します。



- 5 アサインしたMIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16( ch )です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 6 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- ⚠ 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

## [8] VECTOR-Y (Vector-Y assignment)

Vector-Y assignment では、ベクター・ジョイスティック Y 方向への MIDI メッセージのアサイン等を設定します。

ベクター・ジョイスティック Y 方向にアサインできるメッセージは、X 方向と同様にコントロール・チェンジ (CC#) です。

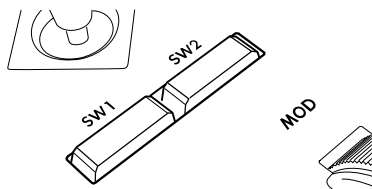
### 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[8]を押します。

Vector-Y assignment に入り、[SETTING]キーとパッド[8]が点灯します。メインディスプレイには Message Select ( MIDI メッセージの選択 ) が表示されます。ベクター・ジョイスティック Y 方向にアサインの設定の方法は、ベクター・ジョイスティック X 方向の場合と同じです。設定方法は、「Vector-X assignment」( p.31 ) を参照してください。

## [9] SW1/SW2 (SW1/SW2 assignment)

SW1/SW2 assignment では、スイッチ 1、2 への MIDI メッセージのアサインや送信 MIDI チャンネル等を設定します。

スイッチ 1、2 は、1 パラメーター設定 ( Inc/Dec 形式 ) か 2 パラメーター設定 ( SW x 2 ) にするかを選択できます。



### 1 パラメーター設定にする場合

1 パラメーター設定にした場合、スイッチ 1、2 にアサインできるメッセージは、コントロール・チェンジ ( CC# )、プログラム・チェンジです。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[9]を押します。  
SW1/SW2 assignment に入り、[SETTING]キーとパッド[9]が点灯します。メインディスプレイには Assignment Select ( アサイン方法の選択 ) が表示されます。“Assignment Select”では、1 パラメーター設定にするか、2 パラメーター設定にするか選択します。



- 2 スイッチ 1、2 のアサイン方法をメイン・エンコーダーで選びます。  
ここでは、INC-DEC を選びます。

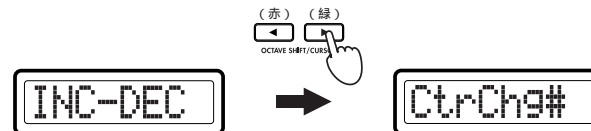
INC-DEC ( 1 パラメーター設定 )

1 パラメーターの MIDI メッセージをアサインします。

SW1/SW2 ( 2 パラメーター設定 )

2 パラメーターの MIDI メッセージをアサインします。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Message Select ( MIDI メッセージの選択 )”へ移動します。



- 4 MIDI メッセージのタイプをメイン・エンコーダーで選びます。

NoAssign

スイッチ 1、2 には MIDI メッセージがアサインされません。NoAssign を選択したときは、[ENTER]キー ( 点滅 ) を押して設定を更新します。( 手順 8 )

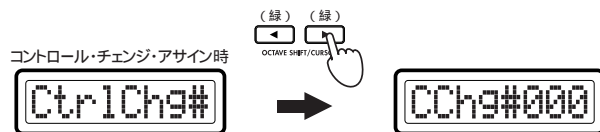
CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。

ProgChg (Program Change)

プログラム・チェンジをアサインします。ProgChg を選択したときは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MIDI Channel ( MIDI チャンネルの設定 )”へ移動します。( 手順 6 )

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Control Change Select ” (コントロール・チェンジ・ナンバーの選択)



- 6 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 7 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1～16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 8 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

- note** 送信する値の範囲は、コントロール・チェンジで0～127、プログラム・チェンジで1～128で1ずつ可変します。

## 2パラメーター設定にする場合

2パラメーター設定にした場合、スイッチ1、スイッチ2にアサインできるメッセージは、ダンパー、ソステヌート、ソフト・ペダル、ポルタメント、コントロール・チェンジ(CC#)です。スイッチ1、スイッチ2ともにアサインできる内容、設定方法は同じです。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[9]を押します。  
SW1/SW2 assignmentに入り、[SETTING]キーとパッド[9]が点灯します。メイン・ディスプレイには“ Assignment Select (アサイン方法の選択)”が表示されます。  
“ Assignment Select ”では、1パラメーター設定にするか、2パラメーター設定にするか選択します。

- 2 スイッチ1、2のアサイン方法をメイン・エンコーダーで選びます。  
ここでは、SW1/SW2を選びます。

INC-DEC( 1パラメーター設定)

1パラメーターのMIDIメッセージをアサインします。

SW1/SW2( 2パラメーター設定)

2パラメーターのMIDIメッセージをアサインします。



- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、アサインするスイッチの選択へ移動します。



- 4 アサインするスイッチをメイン・エンコーダーで選びます。

"SW1"

"SW2"



- 5 アサインするMIDIメッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

**NoAssign**

スイッチにはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選んだ場合は、[ENTER]キー(点滅)を押して、設定を更新します。(☞手順9)

**Damper**

ダンパー( CC#64 )をアサインします。

スイッチを押したときに、127、離れたときに0の値を送信します。

Playモードではスイッチ操作時に、メイン・ディスプレイに" Dampr - "と表示されます。

**Sostenut (Sostenuto)**

ソステヌート( CC#66 )をアサインします。

スイッチを押したときに127、離れたときに0の値を送信します。

Playモードではスイッチ操作時に、メイン・ディスプレイに" Sostn-- "と表示されます。

**Soft (Soft Pedal)**

ソフト・ペダル( CC#67 )をアサインします。

スイッチを押したときに127、離れたときに0の値を送信します。

Playモードではスイッチ操作時に、メイン・ディスプレイに" Soft-- "と表示されます。

**Portmnt (Portamento)**

ポルタメント( CC#65 )をアサインします。

スイッチを押すたびに127と0の値を交互に送信します。

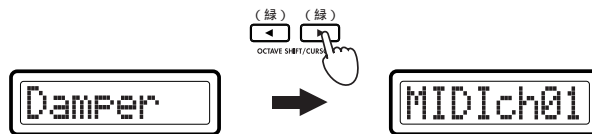
Playモードではスイッチ操作時に、メイン・ディスプレイに" Porta-- "と表示されます。

**CtrlChg# (Control Change)**

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg#を選んだ場合は、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、" Control Change Select "へ移動します。

(☞p.37「コントロール・チェンジのアサイン」)

- 6 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、" MIDI Channel " ( MIDIチャンネルの設定 )へ移動します。



- 7 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1～16(ch)です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 8 OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して" SW1/SW2 Select "へ戻り、もう一方のスイッチも同様に設定します。(☞手順4～7)

- 9 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- ⚠ 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(☞p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)



## [10] PEDAL (Pedal assignment)

Pedal assignment では、リア・パネルの PEDAL 端子へ接続したフット・コントローラーやエクスプレッション・ペダルへ、MIDI メッセージのアサインや送信 MIDI チャンネル等を設定します。

アサインできるメッセージは、マスター・ボリューム、フット・ペダル、ポルタメント・タイム、ボリューム、パン、エクスプレッション、コントロール・チェンジ (CC#) です。

- [SETTING] キーを押しながら、パッド [10] を押します。  
Pedal assignment に入り、[SETTING] キーとパッド [10] が点灯します。メイン・ディスプレイには「Message Select」( MIDI メッセージの選択 )が表示されます。



- アサインする MIDI メッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

### NoAssign

ペダルには MIDI メッセージがアサインされません。NoAssign を選択したときは、[ENTER] キーを押して設定を更新します。( 手順 5 )

### MastrVol (Master Volume)

マスター・ボリュームをアサインします。

マスター・ボリューム [F0, 7F, 7F, 04, 01, vv, mm, F7] ( デバイス ID は 7Fh 固定 ) を送信します。

Play モードではペダル操作時、メイン・ディスプレイに「MstVl--」と表示されます。MastrVol を選択したときは、[ENTER] キーを押して設定を更新します。( 手順 5 )

### FootPdl (Foot Pedal)

フット・ペダル ( CC#04 ) をアサインします。

ペダルをいっぱい踏み込んだときに 127、戻しきったときに 0 の値を送信します。Play モードではペダル操作時に、メイン・ディスプレイに「FootP--」と表示されます。

### PortaTm (Portamento Time)

ポルタメント・タイム ( CC#05 ) をアサインします。

ペダルをいっぱい踏み込んだときに 127、戻しきったときに 0 の値を送信します。Play モードではペダル操作時に、メイン・ディスプレイに「PTime--」と表示されます。

### Volume (Volume)

ボリューム ( CC#07 ) をアサインします。

ペダルをいっぱい踏み込んだときに 127、戻しきったときに 0 の値を送信します。Play モードではペダル操作時に、メイン・ディスプレイに「Volum--」と表示されます。

### Pan (Panpot)

パンポット ( CC#10 ) をアサインします。

ペダルをいっぱい踏み込んだときに 127、戻しきったときに 0 の値を送信します。Play モードではペダル操作時に、メイン・ディスプレイに「Pan--」と表示されます。

### Express (Expression)

エクスプレッション ( CC#11 ) をアサインします。

ペダルをいっぱい踏み込んだときに 127、戻しきったときに 0 の値を送信します。Play モードではペダル操作時に、メイン・ディスプレイに「Exprs--」と表示されます。

### CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg# を選んだ場合は、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶] キーを押して、「Control Change Select」へ移動します。( 手順 3.6 「コントロール・チェンジのアサイン」 )

- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶] キーを押して、「MIDI Channel」( MIDI チャンネルの設定 )へ移動します。



- MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は 1 ~ 16 ( ch ) です。( 手順 4 「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」 )

- [ENTER] キーを押します。  
設定が更新され、Play モードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Scene モードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。( 手順 5.5 「Scene モード - [16] WRITE」 )

## コントロール・チェンジのアサイン

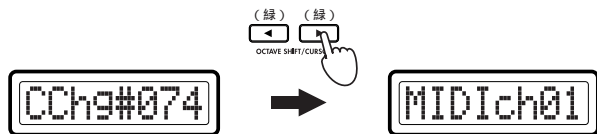
“ Message Select ”でCtrlChg#を選んだときは、“ Control Change Select ”でコントロール・チェンジを選択し、“ MIDI Channel ”( MIDIチャンネルの設定 )へ進みます。

- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Control Change Select ”( コントロール・チェンジ・ナンバーの選択 )へ移動します。



- 2 コントロール・チェンジ・ナンバーをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。選択範囲は、0 ~ 127 です。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”( MIDIチャンネルの設定 )へ移動します。



- 4 送信MIDIチャンネルをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16( ch )です。

- 5 [ENTER]キーを押します。設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(「p.55」 Sceneモード - [16] WRITE )

## [11] FOOT SW (Foot SW assignment)

Foot SW assignmentでは、リア・パネルのSWITCH端子へ接続したフット・スイッチやダンパー・ペダルへ、MIDIメッセージのアサインや送信MIDIチャンネル等を設定します。アサインできるメッセージは、ダンパー、ソステヌート、ソフト・ペダル、ポルタメント、コントロール・チェンジ( CC# )です。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[11]を押します。Pedal assignmentに入り、[SETTING]キーとパッド[11]が点灯します。メイン・ディスプレイには“ Message Select ”( MIDIメッセージの選択 )が表示されます。



- 2 アサインするMIDIメッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

### NoAssign

フット・スイッチにはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選んだ場合は、[ENTER]キー(点滅)を押して、設定を更新します。(「手順5」)

### Damper

ダンパー( CC#64 )をアサインします。

フット・スイッチを押したときに、127、離れたときに0の値を送信します。

Playモードではフット・スイッチ操作時、メイン・ディスプレイに“ Dampr -- ”と表示されます。

### Sostenut (Sostenuto)

ソステヌート( CC#66 )をアサインします。

フット・スイッチを押したときに、127、離れたときに0の値を送信します。

Playモードではフット・スイッチ操作時に、メイン・ディスプレイに“ Sostn-- ”と表示されます。

### Soft (Soft Pedal)

ソフト・ペダル( CC#67 )をアサインします。

フット・スイッチを押したときに、127、離れたときに0の値を送信します。

Playモードではフット・スイッチ操作時に、メイン・ディスプレイに“ Soft-- ”と表示されます。

### Portmnt (Portamento)

ポルタメント( CC#65 )をアサインします。  
 スイッチを押すたびに、127と0の値を交互に送信します。  
 Playモードではペダル操作時に、メイン・ディスプレイに「Porta--」と表示されます。

### CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg#を選んだ場合は、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「Control Change Select」へ移動します。(※p.37「コントロール・チェンジのアサイン」)

- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「MIDI Channel」(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1～16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

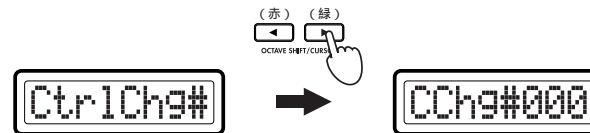
- [ENTER]キーを押します。  
 設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

## コントロール・チェンジのアサイン

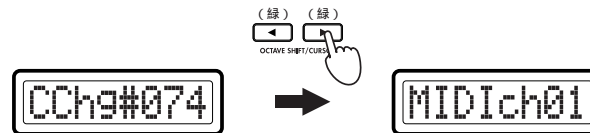
“Message Select”でCtrlChg#を選んだときは、「Control Change Select」、「MIDI Channel」、「Pedal Type」の順に設定します。

- “Message Select”でCtrlChg#を選び、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「Control Change Select」(コントロール・チェンジ・ナンバーの選択)へ移動します。



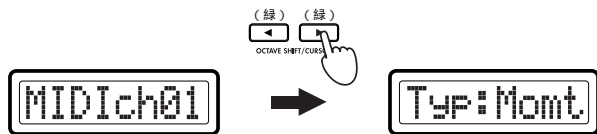
- コントロール・チェンジ・ナンバーを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。選択範囲は0～127です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「MIDI Channel」(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1～16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ Pedal Type (ペダル動作の設定)に移動します。



- 6 ペダルの動作をメイン・エンコーダーで設定します。

**Momt (Momentary)**

ペダルを踏んだときに、アサインしたMIDIメッセージの127を、戻したときに0の値を送信します。

**Tgls (Toggle)**

ペダルを踏むたびに、アサインしたMIDIメッセージの127と0の値を交互に送信します。

- 7 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

## [12] KEYBOARD (Keyboard setting)

Keyboard settingでは、鍵盤を弾いたときにノート・データを送信するMIDIチャンネル、トランスポーズ、ペロシティ・カーブを設定します。打鍵時に、ペロシティ・カーブまたは固定値に対応してペロシティ値を送信します。8種類のカーブまたはペロシティ値固定の中から選びます。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[12]を押します。  
Keyboard settingへ入り、[SETTING]キーとパッド[12]が点灯します。メイン・ディスプレイには“ MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)が表示されます。



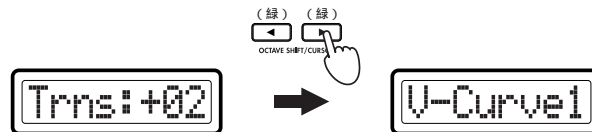
- 2 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ Transpose (トランスポーズの設定)へ移動します。  
トランスポーズの設定では、半音単位で鍵盤のトランスポーズを設定できます。



- 4 鍵盤のトランスポーズを、メイン・エンコーダーまたはパッドで設定します。設定範囲は、- 24 ~ + 24(± 2オクターブ)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Velocity Type (ペロシティ・タイプの選択)へ移動します。



6 ベロシティ・カーブをメイン・エンコーダーで選択します。カーブを選択したときは、[ENTER]キー(点滅)を押して設定を保存します。(※手順8)

**V-Curve1 ~ V-Curve3 (Velocity Curve1-3)**

強く弾いたときに効果が得られるカーブです。V-Curve3にいくほど高いベロシティ値が得られます。

**V-Curve4, V-Curve5 (Velocity Curve4, 5)**

標準的なカーブです。V-Curve5の方が弱い打鍵で高いベロシティ値が得られます。

**V-Curve6 (Velocity Curve6)**

あまり強く弾かなくても効果が得られるカーブです。

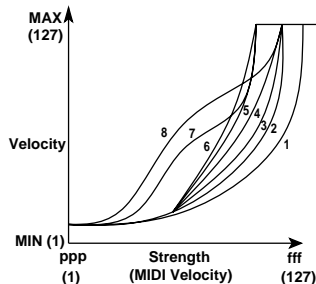
**V-Curve7 (Velocity Curve7)**

中打鍵時は変化が小さく、ほぼ一定の効果が得られるカーブです。

**V-Curve8 (Velocity Curve8)**

中打鍵時は変化が小さく、ほぼ一定の効果が得られるカーブです。V-Curve7よりもフラットになります。

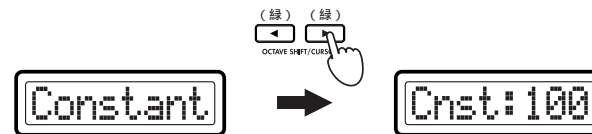
**note** V-Curve7、8のカーブは中打鍵時の変化が小さいので、ベロシティを必要としない場合や音の強さを揃えたい場合に向いていますが、弱打鍵時の変化が大きくコントロールが難しいカーブです。選択するカーブは、自分のベロシティーの強さや得たい効果によって使い分けてください。



**Constant**

設定した値でベロシティ値を送信します。

7 “Velocity Type”でConstantを選んだときは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Cnst(Constant)”(ベロシティ値の設定)へ移動し、ベロシティ値をメイン・エンコーダーで設定します。設定範囲は、1 ~ 127です。



8 [ENTER]キーを押します。設定が更新され、Playモードに戻ります。

更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード-[16] WRITE」)

**[13] MAIN ENC (Main Encoder assignment)**

Main Encoder assignmentでは、メイン・エンコーダーに割り当てる機能を設定します。

アサインできる機能は、テンポ・チェンジ、プログラム・チェンジ、バンク・セレクトを含んだプログラム・チェンジです。

1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[13]を押します。Main Encoder settingに入り、[SETTING]キーとパッド[13]が点灯します。メイン・ディスプレイには“Message Select”(MIDIメッセージの選択)が表示されます。



- 2 アサインするMIDIメッセージをメイン・エンコーダーで選びます。

**NoAssign**

メイン・エンコーダーにはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選んだ場合は、[ENTER]キー(点滅)を押して、設定を更新します。(☞手順5)

**TempoChg(Tempo Change)**

メイン・エンコーダーにはテンポ・チェンジがアサインされます。テンポ・チェンジを選んだ場合は、[ENTER]キー(点滅)を押して、設定を更新します。(☞手順5)

**ProgChg(Program Change)**

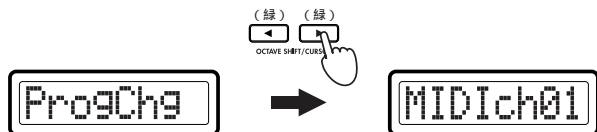
メイン・エンコーダーにはプログラム・チェンジがアサインされます。

**PChg&BS(Program Change & Bank Select)**

メイン・エンコーダーにはバンク・セレクトを含んだプログラム・チェンジがアサインされます。

[SETTING]キーを押しながらメイン・エンコーダーを回したときに、バンク・セレクトのMSBとLSBのどちらを編集できるようにするかを選択することができます。PChg&BSを選んだ場合は、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「Program Change & Bank Select assignment (プログラム・チェンジ&バンク・セレクトのアサイン)へ移動します。(☞p.40「プログラム・チェンジ&バンク・セレクトのアサイン」)

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 4 アサインしたMIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

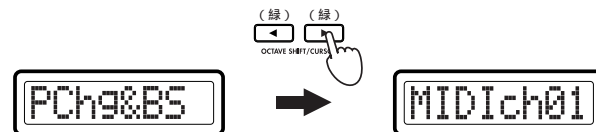
- 5 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(☞p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

## プログラム・チェンジ&バンク・セレクトのアサイン

アサインするMIDIメッセージにプログラム・チェンジ&バンク・セレクトを選んだときは、「MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)へ進みます。

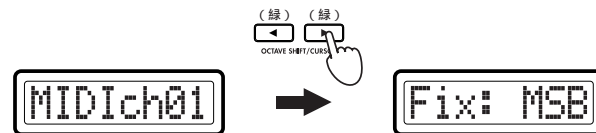
- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 2 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「MSB/LSB Select (MSB/LSBの選択)へ移動します。

[SETTING]キーを押しながらメイン・エンコーダーを回すと、バンク・セレクトのMSB、またはLSBのいずれかを可変することができます。ここでは、MSBとLSBのどちらを固定値にするかを選択します。



4 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、選んだBank Selectの値をメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。選択範囲は0 ~ 127です。

**note** [HEX LOCK]キーを押して16進数での入力も可能です。

5 [ENTER]キーを押します。  
設定が更新され、Playモードに戻ります。

更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード-[16] WRITE」)

## [14] MESSAGE (Message setting)

Message settingでは、MESSAGEモードで9 ~ 16のパッドを押したときに送信するメッセージの作成をします。

1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[14]を押します。  
Message settingに入り、[SETTING]キーとパッド[14]が点灯します。メイン・ディスプレイには「Message Select (MIDIメッセージの選択)」が表示されます。

2 メイン・エンコーダーまたはパッドの9 ~ 16を直接押して設定するパッドを選びます。このとき、選択されているパッドが点滅します。



3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、Message Select (MIDIメッセージの選択)へ移動します。



4 割り当てるメッセージを選択します。

### CtrlChg#(Control Change)

パッドを押したときに、任意のコントロール・チェンジ・メッセージを送信します。一回の送信で決まった値に設定することができます。

### ProgChg(Program Change)

パッドを押したときにプログラム・チェンジ・メッセージ[Cn,mm]( n:チャンネル、mm:プログラム・ナンバー )を送信します。

### BankSel(Bank Select)

パッドを押したときに、バンク・セレクト・メッセージ[Bn,00,mm],[Bn,20,bb]を送信します。MSBとLSBという2つの値を設定することによって、最大16384バンクを指定することができます。

### Free Mesg(Free Message)

パッドを押したときに、任意のメッセージを送信します。  
複数のメッセージを割り当てるのが可能です。

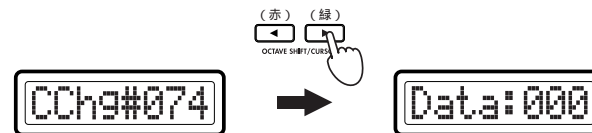
## CtrlChg (Control Change message)

1 送信するコントロール・チェンジを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は0 ~ 127です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

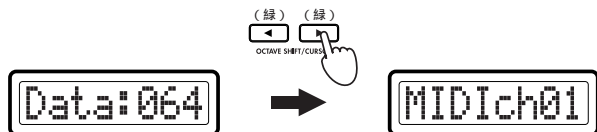


**note** ディスプレイの表示において、選択できるパラメーターや設定値は点滅して表示します。

2 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「Data (送信するメッセージの値の設定)」へ移動します。



- 送信するメッセージの値をメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は 0 ~ 127 です。
- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MIDI Channel”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- コントロール・チェンジを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は 1 ~ 16 (ch) です。
- [ENTER]キーを押して設定を保存します。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押して Play モードに戻ります。

**!** 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(☞p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

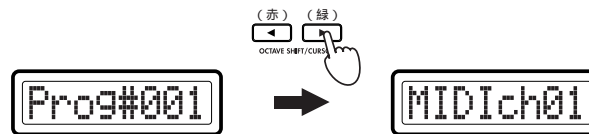
### ProgChg (Program Change message)

- 送信するプログラム・ナンバーを、メイン・エンコーダーまたはパッドで入力します。設定範囲は 1 ~ 128 です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)



**note** [HEX LOCK]キーを押して 16 進数での入力も可能です。

- OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MIDI Channel”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- プログラム・チェンジを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は 1 ~ 16 (ch) です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- [ENTER]キーを押して設定を保存します。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押して Play モードに戻ります。

**!** 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(☞p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)

### BankSel (Bank Select message)

- 送信する“MSB”の値をメイン・エンコーダーまたはパッドで入力します。設定範囲は 0 ~ 127 です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)





- 2 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“LSB”(LSBの設定)へ移動します。



- 3 “LSB”の値をメイン・エンコーダーまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。

- 4 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“MIDI Channel”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 5 バンク・セレクト・メッセージを送信するMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。

- 6 [ENTER]キーを押して設定を保存します。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押してPlayモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード-[16] WRITE」)

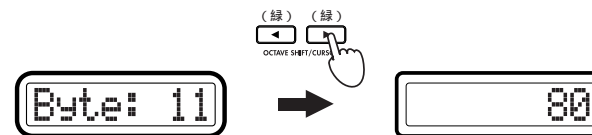
## Free Mesg (Free message)

ここでは、例としてオール・ノート・オフ [B0, 7B, 00]と、マスター・ボリューム・オフ(マスター・ボリュームを最小に設定)[F0, 7F, 7F, 04, 01, 00, 00, F7]のふたつのメッセージを設定します。

- 1 送信するメッセージの長さ(バイト数)をメイン・エンコーダーまたはパッドで設定します。設定範囲は1 ~ 32(byte)です。  
例では、ふたつのメッセージの長さの合計が11バイトなので、ここでは“11”と設定します。(※p.4「トリガー・パッドの機能について-数値の入力」)



- 2 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、メッセージの設定へ移動します。



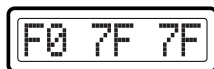
- 3 メイン・エンコーダーまたはパッドで“B0”と入力し、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、次の入力へ移動します。このときは[HEX LOCK]キーが自動的に点灯します。



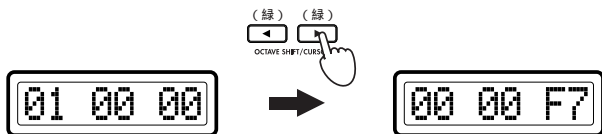
**note** パッドでの入力は16進入力のみとなります。

**note** 入力が指定バイト数になると、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーが赤色に点灯します。

- 4 オール・ノート・オフの入力が終わった後も同じように、メイン・エンコーダーまたはパッドと、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーで“ F0, 7F, 7F, ... ”と入力していきます。



- 5 最後に00と入力した後、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ F7 ” (エンド・オブ・エクスクルーシブ)を入力します。



- 6 [ENTER]キーを押して設定を保存します。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押してPlayモードに戻ります。

- 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55 「Sceneモード - [16] WRITE」)

## [15] USB-MIDI PORT (USB-MIDI Port setting)

USB- MIDI Port settingでは、USB接続時の各コントローラーのUSB-MIDI送信ポートを設定します。コントローラー単位ごとに送信ポートを設定できます。

- MIDI端子で接続している場合は、ここでのポートの設定は関係ありません。すべてのMIDIメッセージをMIDI OUT A端子に送信します。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[15]を押します。USB-MIDI Port setting に入り、[SETTING]キーとパッド[15]が点灯します。メイン・ディスプレイには“ Controller Select (設定するコントローラーの選択) ”が表示されます。



- 2 設定するコントローラーをメイン・エンコーダーで選択します。

### ENCODER

エンコーダーの送信ポートを設定します。

### SLIDER

スライダーの送信ポートを設定します。

### PAD 1-8

パッド[1]～[8]の送信ポートを設定します。

### PAD 9-16

パッド[9]～[16]の送信ポートを設定します。

### PITCH

ピッチ・ベンド・ホイールの送信ポートを設定します。

### MOD

モジュレーション・ホイールの送信ポートを設定します。

### VECTOR-X

ベクター・ジョイスティックのX方向の送信ポートを設定します。

### VECTOR-Y

ベクター・ジョイスティックのY方向の送信ポートを設定します。

### SW1/2

スイッチ1/スイッチ2の送信ポートを設定します。

### PEDAL

接続したフット・コントローラ等の送信ポートを設定します。

### FOOT SW

接続したダンパー・ペダルやペダル・スイッチの送信ポートを設定します。

### KEYBOARD

鍵盤の送信ポートを設定します。

### MAIN ENC

メイン・エンコーダーで、プログラム・チェンジやバンク・セレクトを送信するポートを設定します。

### MESG A

[MESSAGE]キーを押しながら、パッド[2]～[8]を押して送信されるMIDIメッセージとMIDIクロックの送信ポートを設定します。

### MESG B

ユーザー・メッセージ(パッド[9]～[16])を送信するMIDIメッセージの送信ポートを設定します。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「USBPort」(ポートの設定)へ移動します。



- 4 送信するポートをメイン・エンコーダーで選択します。

#### A (USB Port A)

コントローラーにアサインしたMIDIメッセージをポートAに送信します。

#### B (USB Port B)

コントローラーにアサインしたMIDIメッセージをポートBに送信します。

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して「Controllor Select」に戻り、他のコントローラーの送信ポートを設定します。(☞手順2～4)

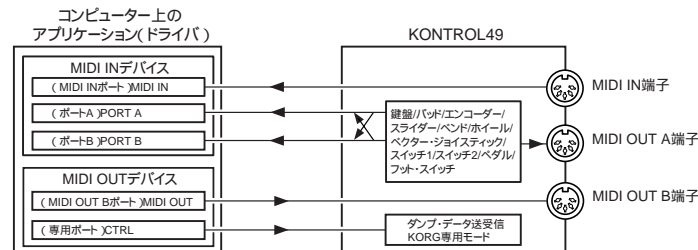
- 6 それぞれのコントローラーに対して設定し終わったら、[ENTER]キーを押します。設定が更新され、Playモードに戻ります。

**note** 更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(☞p.55「Sceneモード-[16]WRITE」)

**note** ポートの設定は、シーンごとに保存が可能です。

## KONTROL49とドライバのポートについて

KONTROL49のUSB-MIDIは、ドライバ(コンピューター)側から見ると3 IN - 2 OUTになります。



## MIDI IN デバイス

### MIDI IN ポート

KONTROL49のMIDI IN端子に入力されたMIDIメッセージを、このポートに出力します。例えば、外部シーケンサーのMIDIメッセージを、コンピューターのアプリケーションに送信したり、KONTROL49をUSB-MIDIインターフェイスとして使用することができます。このときは、アプリケーションのMIDI入力設定でこのポートを選択してください。KONTROL49の各コントローラーからのMIDIメッセージが入力されます。どちらのポートに入力するかは、USB-MIDI Port settingページで設定します。鍵盤の演奏データをポートAに、コントローラーのデータをポートBに設定する等の使い分けをすると便利です。コンピューターのアプリケーションをKONTROL49で操作する場合には、アプリケーションのリモートコントロールのMIDI入力設定で、いずれかのポートを選択してください。(インストール・ガイド ☞p.11「アプリケーション側の入力ポートの設定」)

## MIDI OUT デバイス

### MIDI OUT B ポート

ソフトウェアが出力したMIDIメッセージを、そのままKONTROL49のMIDI OUT B端子へ送信します。

コンピューターのアプリケーションのMIDIメッセージを外部機器に送信する等の、KONTROL49をUSB-MIDIインターフェイスとして使用する場合に、アプリケーションのMIDI入力設定でこのポートを選択してください。

### 専用ポート(CTRL)

ダンプ・データの送受信とKORG専用モードで使用します。(※p.58「KORG専用モードについて」)

## KONTROL49のMIDI端子について

### USB接続されていないとき

#### MIDI IN 端子

MIDIメッセージを受信します。MIDIメッセージは、KONTROL49のMIDI OUT B端子からスルーで送信されます。KORG専用モードに入ったときは、専用のシステム・エクスクルーシブ・メッセージを受信し、動作します。

#### MIDI OUT A 端子

KONTROL49の各コントローラーを操作したときのMIDIメッセージを送信します。

#### MIDI OUT B 端子

KONTROL49のMIDI IN端子から受信したMIDIメッセージをそのまま送信します。

### USB接続されているとき

#### MIDI IN 端子

MIDIメッセージを受信します。MIDIメッセージをそのままMIDI INポートへ送信します。

#### MIDI OUT A 端子

KONTROL49の各コントローラーを操作したときのMIDIメッセージ(ポートA、ポートBともに)を送信します。

### MIDI OUT B 端子

MIDI OUT Bポートから受信したMIDIメッセージをそのまま送信します。

## [16] GLOBAL (Global setting)

Global settingでは、接続するペダルなどの設定、ディスプレイのバックライトの色、パッドの点灯状態を設定します。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[16]を押します。  
Global settingに入り、[SETTING]キーとパッド[16]が点灯します。メイン・ディスプレイには設定する項目が表示されます。



- 2 変更したい設定項目をメイン・エンコーダーで選びます。

#### Polarity (Polarity setting)

リア・パネルのASSIGNABLE SWITCH端子に接続するダンパー・ペダルまたはペダル・スイッチの極性を設定します。

#### PdI Calib (Pedal Calibration)

リア・パネルのASSIGNABLE PEDAL端子に接続する、ペダルの有効範囲を設定します。ペダルを操作しても効果が得られないときに設定します。

#### Backlit (LCD Backlit setting)

メイン・ディスプレイ、サブ・ディスプレイのバックライトの色を設定します。サブ・ディスプレイでは、エンコーダーとスライダの表示ごとにバックライトの色を設定できます。操作したコントローラーによってディスプレイのバックライトの色が変わります。

#### PadBlink (PAD Illumination setting)

パッドのMIDIメッセージ送信時におけるパッドの点灯状態を設定します。

## ポラリティ(接続するペダルの極性)の設定

- 1 Polarity settingを選択すると、メイン・ディスプレイには“Polarity setting”(ペダルの極性設定)が表示されます。



- 2 接続するペダルの極性をメイン・エンコーダーで選択します。
  - + : 接続したペダルの極性が+( )の場合に設定します。
  - : 接続したペダルの極性が-( )の場合に設定します。コルゲダンパー・ペダル(オプションDS-1H)やコルゲペダル・スイッチ(オプションPS-1)を接続した場合も-に設定します。また、PEDAL端子にペダルを接続しない場合には、-に設定してください。

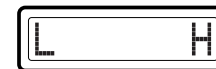
- 3 [ENTER]キーを押します。設定が保存され、Playモードに戻ります。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押してPlayモードに戻ります。

**!** 保存中には絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## ペダル・キャリブレーション(ペダルの有効範囲)の設定

- 1 Calibrationを選択すると、メイン・ディスプレイには最大・最小の範囲が表示されます。



- 2 接続したペダルを最大・最小に動かします。動いた範囲がメイン・ディスプレイに“\*”で表示されます。
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押します。メイン・ディスプレイに“Sure?”(キャリブレーション設定の保存の確認)と表示されます。



- 4 [ENTER]キーを押して、保存を実行します。終了すると、メイン・ディスプレイに“Complete”と表示され、Playモードに戻ります。



[EXIT]キーを押すと、シーン名が表示されます。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押してPlayモードに戻ります。

**!** 設定が適切におこなわれないと、[ENTER]キーを押したときに“CalibErr”と表示されます。そのときは、もう一度設定し直してください。

**!** 保存中には絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## LCD バックライトの設定

- 1 LCD Backlit setting を選択すると、メイン・ディスプレイには“ LCD Backlit setting ”(設定するディスプレイの選択)が表示されます。



- 2 設定するディスプレイをメイン・エンコーダーで選びます。

Encd (Encoder)

サブ・ディスプレイ、エンコーダー表示時のバックライト色を設定します。

Sldr (Slider)

サブ・ディスプレイ、スライダー表示時のバックライト色を設定します。

Main

メイン・ディスプレイのバックライト色を設定します。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Backlit Select ”(バックライト色の選択)へ移動します。



- 4 バックライトの色をメイン・エンコーダーで選びます。

Off : バックライト・オフ

Red: 赤

Grn: 緑

Org : オレンジ

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して“ Display Select ”に戻り、他のディスプレイも同様に設定します。

- 6 それぞれのディスプレイに対して設定し終えたら、[ENTER]キーを押します。各設定が保存され、Playモードに戻ります。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押して Play モードに戻ります。

**!** 保存中には絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## パッド・イルミネーションの設定

- 1 PAD Illumination setting を選択すると、メイン・ディスプレイには“ Padblink setting ”(パッドの点灯状態について設定)が表示されます。



- 2 Playモードでパッドを押したときに、ワンショットで点灯させるかどうか、または何も変化させないかをメイン・エンコーダーで選択します。

BlinkOff: 何も変化しません。(消灯または緑で点灯のまま)

BlinkOn: ワンショットで点灯または消灯します。

- 3 [ENTER]キーを押します。設定が保存され、Playモードに戻ります。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押して Play モードに戻ります。

**!** 保存中には絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## Message モード

Message モードは、各種MIDIメッセージを送信するモードです。

Message モードは、16のページに分かれています。パッド[1]～[8]は、プリセットされているMIDIメッセージを送信します。パッド[9]～[16]は、Setting モードの[14]MES-SAGE ページで作成したメッセージを送信します。

Play モードで、[MESSAGE]キーを押しながらパッド[1]～[16]を押すと、以下に示すMIDIメッセージが送信されます。[MESSAGE]キーを押し続けている間は、パッド[1]～[8]は赤で点灯し、[9]～[16]は、MIDIメッセージをアサインしたパッドが緑で点灯します。

また、[EXIT]キーを押しながら[MES-SAGE]キーを押すと、メイン・ディスプレイに“ MesgPad? ”と表示され、メッセージ選択の待機状態になります。この状態からパッドを押すことによってメッセージを送信できます。パッドを押してメッセージを送信したときは、送信後も待機状態となります(モード・ロック)。再度、パッドを押してメッセージを送信することができます。待機状態から抜けるときは[EXIT]キーを押します。

パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[1]	Panic message	オール・ノート・オフ、オール・サウンド・オフ、リセット・オール・コントローラーのメッセージを送信(※p.49)
パッド[2]	Snap Shot message	エンコーダーとスライダの値を送信(※p.50)
パッド[3]	All Note Off message	オール・ノート・オフを送信(※p.50)
パッド[4]	GM On message	GMシステム・オンを送信(※p.50)
パッド[5]	Stop message	リアルタイム・メッセージのストップを送信(※p.50)
パッド[6]	Start message	リアルタイム・メッセージのスタートを送信(※p.51)
パッド[7]	Continue message	リアルタイム・メッセージのコンティニューを送信(※p.51)
パッド[8]	Tap Tempo message	テンポの調整(※p.51)
パッド[9]～[16]	User Message	Setting モードで設定したメッセージ(※p.51)

**note** メッセージが送信されるポートは、Setting モードのUSB-MIDI Port setting で設定します。(※p.44「Setting モード - [15] USB-MIDI Port setting」)

### [1] PANIC (Panic message)

オール・ノート・オフ [Bn, 7B, 00]、オール・サウンド・オフ [Bn, 78, 00]、リセット・オール・コントローラー [Bn, 79, 00]を全MIDIチャンネルに送信します。操作中に、接続したソフト・ウェアの動作が不安定になったり、MIDI音源が発音したまま止まらなくなった場合に実行します。

- [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[1]を押します。パッド[1]がワンショットで消灯し、オール・ノート・オフ、オール・サウンド・オフ、リセット・オール・コントローラーを全MIDIチャンネルに送信します。メイン・ディスプレイに“ PANIC! ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

**note** このメッセージのみは、Setting モードの[15] USB-MIDI PORT(USB-MIDI Port Setting)の設定にかかわらず、ポートAとポートBの両方のポートに送信します。

## [2] SNAP (Snap Shot message)

エンコーダーとスライダの現在の値を送信します( Snap Shot機能 )。エンコーダーとスライダにアサインしたMIDIメッセージを、シーケンサー等で曲の先頭にレコーディングする場合や、DAW等に初期設定として送信する場合に有効です。

**note** Snap Shot機能では、8つのエンコーダーとスライダの値を、それぞれにアサインされている内容で送信します。

- 1 Play モードでエンコーダーとスライダを操作して、目的の設定にします。サブ・ディスプレイに操作時の値が表示されます。
- 2 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[2]を押します。パッド[2]がワンショットで消灯し、エンコーダーとスライダの設定値を送信します。メイン・ディスプレイに“ SNAP ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Play モードに戻ります。

## [3] NOTE OFF (All Note Off message)

オール・ノート・オフ [Bn, 7B, 00]を全MIDIチャンネルに送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[3]を押します。パッド[3]がワンショットで消灯し、オール・ノート・オフを全MIDIチャンネルに送信します。メイン・ディスプレイに“ NOTE OFF ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Play モードに戻ります。

## [4] GM ON (GM On message)

GMシステム・オン [F0, 7E, 7F, 09, 01, F7]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[4]を押します。パッド[4]がワンショットで消灯し、GMシステム・オンを送信します。メイン・ディスプレイに“ GM ON ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Play モードに戻ります。

## [5] STOP (Stop message)

リアルタイム・メッセージのストップ [FC]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[5]を押します。パッド[5]がワンショットで消灯し、リアルタイム・メッセージのストップを送信します。メイン・ディスプレイに“ STOP ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Play モードに戻ります。



## [6] START (Start message)

リアルタイム・メッセージのスタート [FA]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[6]を押します。パッド[6]がワンショットで消灯し、リアルタイム・メッセージのスタートを送信します。メイン・ディスプレイに“ START ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

## [7] CONTINUE (Continue message)

リアルタイム・メッセージのコンティニュー [FB]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[7]を押します。パッド[7]がワンショットで消灯し、リアルタイム・メッセージのコンティニューを送信します。メイン・ディスプレイに“ CONTINUE ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

## [8] TAP (Tap Tempo message)

一定の間隔で、連続してパッドを押すことによって、シーケンサー等のテンポを調整します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、設定したいテンポに合わせてパッド[8]を2回以上押します。パッド[8]がワンショットで消灯し、送信しているタイミング・クロックのテンポがメイン・ディスプレイに表示されます。(小数点第一位まで)



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

**note** [EXIT]キーを押しながら[MESSAGE]キーを押して、モード・ロックの状態にさせると、パッド[8]のみを叩いてテンポを調整できます。

## [9]–[16] USER MESG 1–8 (User message)

Settingモードの[14] MESSAGE ページで作成したメッセージを送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[9]～[16]を押します。押したパッドがオレンジでワンショットで点灯し、設定したメッセージを送信します。メイン・ディスプレイに“ MESSAGE番号 ”と表示されます。番号は1～8で、パッド[9]～[16]に対応しています。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

## Scene モード

Sceneモードでは、シーンの選択と保存、プリセット・シーンのロード、ダンプ・データの送受信等を行うモードです。

Sceneモードは、5つのページに分かれています。

[SCENE]キーを押しながらパッド[1]～[16]を押すと、以下に示すようにシーンを選択したり、シーンの保存等のページに移動します。[SCENE]キーを押している間は、現在選ばれているシーンのパッドが点滅します。


また、[EXIT]キーを押しながら[SCENE]キーを押すと、メイン・ディスプレイに“ScenePad?”と表示され、ページ選択の待機状態になります(モード・ロック)。この状態からパッドを押すことによってページを選択できます。


パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[1]～[12]	Select Scene	本体に保存されているシーンの選択(※p.52)
パッド[13]	MIDI Channel	MIDIチャンネルを設定(※p.53)
パッド[14]	Dump	シーンのコンピューターへの保存、ロード(※p.53)
パッド[15]	Preload	プリセット・シーンのロード(※p.54)
パッド[16]	Write	シーンの本体への保存(※p.55)

## OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて

[13] MIDI Channelページ、[15] PRELOADページと[16] WRITEページでは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーがカーソル・キーとなり、パラメーターの移動に使用します。

[SCENE]キーとパッドを押してページに入ると、移動できる方向のキーが緑に点灯します。キーが消灯、または赤く点灯している方向へは移動できません。

(赤) (緑)  
 : 右のパラメーターへ移動可能

(緑) (赤)  
 : 左のパラメーターへ移動可能

ページの最後になると、[ENTER]キーが点滅します。[ENTER]キーを押すと、ロードまたはライトを実行し、Playモードに戻ります。途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。




## [1]～[12] Select Scene

KONTROL49本体に保存されているシーン(各コントローラーの設定)を選択します。

- [SCENE]キーを押しながら、使用するシーン・ナンバーのパッド([1]～[12])を押します。  
パッドが点滅し、メイン・ディスプレイにはシーン名が表示されます。



[SCENE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

- note** 電源を入れたときは、前回最後に選択したシーンになります。
-  現在選択しているシーンの設定を変更する場合、そのシーンを選び直すと変更前の設定に戻ってしまうので、注意してください。
-  シーンのロードでは、KONTROL49内部の設定を変更するだけです。USB端子やMIDI端子からはMIDIメッセージは送信されません。
-  シーンが切り替わる途中で、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## [13] MIDI Channel

MIDI Channelでは、現在選ばれているシーンのMIDIチャンネルとグローバルMIDIチャンネルを設定します。

通常、各シーンの操作子は、それぞれのSettingモードで設定したMIDIチャンネルでメッセージが送信されます(Any)。このページでシーンのMIDIチャンネルを指定することにより、シーンに関わりなく全ての操作子からのMIDIメッセージをこのMIDIチャンネルで送信することができます。

- 1 [SCENE]キーを押しながら、パッド[13]を押します。  
MIDI Channelページに入り、[SCENE]キーとパッド[13]が点灯し[ENTER]キーが点滅します。  
メイン・ディスプレイには、現在のシーンMIDIチャンネルの設定が表示されます。



- 2 送信MIDIチャンネルをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

### Any Ch(Any)

“Any Ch”を選択すると、それぞれ固有のMIDIチャンネルでの送信になります。

### ScnCh#01-16(Scene MIDI Channel)

選択したMIDIチャンネルで全ての操作子からのMIDIメッセージを送信します。

- ⚠ Any Chはパッドで設定することはできません。
  - ⚠ シーンのMIDIチャンネルは、シーンごとに記憶されます。更新した設定を残す場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.55「Sceneモード - [16] WRITE」)
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーを押して、“Global MIDI Channel”(グローバルMIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 4 グローバルMIDIチャンネルを、メイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。設定範囲は、1 ~ 16(ch)です。

- 5 [ENTER]キーを押します。設定が保存され、Playモードに戻ります。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押してPlayモードに戻ります。

- ⚠ 保存中には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## [14] DUMP

Dumpページでは、接続したコンピューター上のエディター・ライブラリアン・ソフト等とデータのやり取りを行います。やり取りができるデータは、シーン・パラメーターとグローバル・パラメーターです。

- 1 [SCENE]キーを押しながら、パッド[14]を押します。  
Dumpページに入り、[SCENE]キーとパッド[14]が点灯します。



- 2 コンピューター上のエディター・ライブラリアン・ソフト等から、MIDIデータ・ダンプまたはダンプ・リクエストを送信し、データのやり取りを行います。

エディター・ライブラリアン・ソフトとのデータのやり取りの方法は、付属のCDに入っている「エディター・ライブラリアン・ソフト取扱説明書」をご覧ください。

- 3 [EXIT]キーを押して、Playモードに戻ります。

**note** エディター・ライブラリアン・ソフトを使用した場合は、自動的にDumpページに移動します。

## [15] PRELOAD

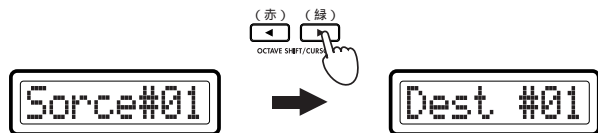
KONTROL49 本体にプリセットされているシーンをロードします。  
プリセット・シーン 12 種類から任意のシーン・ナンバーにロードできます。

- 1 [SCENE]キーを押しながら、パッド[15]を押します。  
Preload ページに入り、[SCENE]キーが点灯します。  
メイン・ディスプレイには“ Source ”(ロードするプリセット・シーンの選択)を表示し、そのパッドが点滅します。

Source#01

**note** メイン・ディスプレイでは、選択できるパラメーターや設定値を点滅して表示します。

- 2 ロードするプリセット・シーンをメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。  
パッドで選ぶ場合は、ロードしたいシーンのパッドを押します。
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Destination ”(ロード先の選択)へ移動します。



- 4 プリセット・シーンのロード先をメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押します。  
メイン・ディスプレイに“ Sure ? ”(ロードの確認)と表示されます。

Sure ?

- 6 [ENTER]キーを押して、ロードを実行します。  
ロードが終了すると、メイン・ディスプレイに“ Complete ”と表示され、Playモードに戻ります。

Complete

[EXIT]キーを押すと、シーン名が表示されます。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押して Play モードに戻ります。

**!** ロード中には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## [16] WRITE

各コントローラーのアサイン設定をシーンとして保存します。  
本体には12個まで保存することができます。

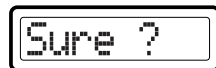
- 1 [SCENE]キーを押しながらパッド[16]を押します。  
WRITEページに入り、[SCENE]キーが点灯します。メイン・ディスプレイには、現在のシーン・ナンバーが表示され、そのパッドが点滅します。



- 2 保存先をメイン・エンコーダーまたはパッドで選びます。
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Name”(シーン名の入力)に移動します。



- 4 任意の名前をつけます。ここで設定した名前は、Playモードでメイン・ディスプレイに表示されます。入力方法は、「名前を入力する」(☞p.22)を参照してください。
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キー、または[ENTER]キーを押します。  
メイン・ディスプレイに“Sure?”(ライトの確認)と表示されます。



- 6 [ENTER]キーを押して、ライトを実行します。  
ライトが終了すると、メイン・ディスプレイに“Complete”と表示され、Playモードに戻り、保存したシーンに切り替わります。



[EXIT]キーを押すと、シーン名が表示されます。

**note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。

**!** ライト中には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

## 資料編

## 使用できるMIDIメッセージ

KONTROL49では、以下のMIDIメッセージが使用できます。

## チャンネル・メッセージ

メッセージ	機能
8n	ノート・オン
9n	ノート・オフ
An	ポリフォニック・キー・プレッシャー
Bn	コントロール・チェンジ / モード・メッセージ
Cn	プログラム・チェンジ
Dn	チャンネル・アフタータッチ
En	ピッチ・ベンド・チェンジ

\* n: MIDIチャンネル(0 - F)

## システム・リアルタイム・メッセージ

メッセージ	機能
F0	システム・エクスクルーシブ・メッセージ
F1	MIDIタイムコード
F2	ソング・ポジション・ポインター
F3	ソング・セレクト
F6	チューン・リクエスト
F7	エンド・オブ・システム・エクスクルーシブ
F8	タイミング・クロック(≡Messageモード - [8] TAP)
FA	スタート(≡Messageモード - [6] START)
FB	コンティニュー(≡Messageモード - [7] CONTINUE)
FC	ストップ(≡Messageモード - [5] STOP)
FE	アクティブ・センシング
FF	システム・リセット

## MIDIコントロール・チェンジ・メッセージ

CC# (Hex)	機能
000 (00)	バンク・セレクト MSB/LSB
001 (01)	モジュレーション MSB/LSB
002 (02)	プレス・コントローラー MSB/LSB
003 (03)	未定義
004 (04)	フット・コントローラー MSB/LSB
005 (05)	ボルタメント MSB/LSB
006 (06)	データ・エントリ MSB/LSB
007 (07)	チャンネル・ボリューム MSB/LSB
008 (08)	バランス MSB/LSB
009 (09)	未定義
010 (0A)	パン MSB/LSB
011 (0B)	エクスペリション MSB/LSB
012 (0C)	エフェクト・コントロール1 MSB/LSB
013 (0D)	エフェクト・コントロール2 MSB/LSB
016 (10)	ゼネラル・パーパス・コントローラー1 MSB/LSB
017 (11)	ゼネラル・パーパス・コントローラー2 MSB/LSB
018 (12)	ゼネラル・パーパス・コントローラー3 MSB/LSB
019 (13)	ゼネラル・パーパス・コントローラー4 MSB/LSB
020 (14)	052 (34)
⋮	⋮
031 (1F)	063 (3F)
064 (40)	ホールド1(ダンパー、サステイン)
065 (41)	ボルタメント・スイッチ(オン/オフ)
066 (42)	ソステヌート
067 (43)	ソフト・ペダル
068 (44)	レガート・フット・スイッチ
069 (45)	ホールド2
070 (46)	サウンド・コントローラー1(サウンド・バリエーション)
071 (47)	サウンド・コントローラー2(レゾナンス)
072 (48)	サウンド・コントローラー3(リリリース・タイム)
073 (49)	サウンド・コントローラー4(アタック・タイム)
074 (4A)	サウンド・コントローラー5(ブライトネス)
075 (4B)	サウンド・コントローラー6(ディケイ・タイム)
076 (4C)	サウンド・コントローラー7(ピブラート・レート)
077 (4D)	サウンド・コントローラー8(ピブラート・デプス)
078 (4E)	サウンド・コントローラー9(ピブラート・ディレイ)
079 (4F)	サウンド・コントローラー10
080 (50)	ゼネラル・パーパス・コントローラー5
081 (51)	ゼネラル・パーパス・コントローラー6

CC# (Hex)	機能
082 (52)	ゼネラル・バypass・コントローラー 7
083 (53)	ゼネラル・バypass・コントローラー 8
084 (54)	ポルタメント・コントロール
085 (55) ⋮ 090 (5A)	未定義
091 (5B)	エフェクト・デプス(リバup・センド・レベル)
092 (5C)	エフェクト・デプス(トレモロ・デプス)
093 (5D)	エフェクト・デプス(コーラス・センド・レベル)
094 (5E)	エフェクト・デプス(セレステ・デプス)
095 (5F)	エフェクト・デプス(フェイザー・デプス)
096 (60)	データ・インクリメント
097 (61)	データ・デクリメント
098 (62)	099 (63) NRPN LSB/MSB
100 (64)	101 (65) RPN LSB/MSB
102 (65) ⋮ 119 (77)	未定義

## チャンネル・モード・メッセージ

CC# MSB/LSB (Hex)	機能
120 (78)	オール・サウンド・オフ
121 (79)	リセット・オール・コントローラー
122 (7A)	ローカル・コントロール
123 (7B)	オール・ノート・オフ
124 (7C)	オムニ・オフ
125 (7D)	オムニ・オン
126 (7E)	モノ・オン(ポリ・オフ)
127 (7F)	ポリ・オン(モノ・オフ)

## RPN MSB/LSB

MIDIメッセージ	MSB (Hex)	LSB (Hex)
RPNファインチューン	00 (00)	01 (01)
RPNコースチューン	00 (00)	02 (02)
RPNピッチベンド・レンジ	00 (00)	00 (00)

## ノート No.

Note	No. (Hex)	Note	No. (Hex)	Note	No. (Hex)	Note	No. (Hex)
C-1	0 (00)	C2	36 (24)	C5	72 (48)	C8	108 (6C)
C#-1	1 (01)	C#2	37 (25)	C#5	73 (49)	C#8	109 (6D)
D-1	2 (02)	D2	38 (26)	D5	74 (4A)	D8	110 (6E)
D#-1	3 (03)	D#2	39 (27)	D#5	75 (4B)	D#8	111 (6F)
E-1	4 (04)	E2	40 (28)	E5	76 (4C)	E8	112 (70)
F-1	5 (05)	F2	41 (29)	F5	77 (4D)	F8	113 (71)
F#-1	6 (06)	F#2	42 (2A)	F#5	78 (4E)	F#8	114 (72)
G-1	7 (07)	G2	43 (2B)	G5	79 (4F)	G8	115 (73)
G#-1	8 (08)	G#2	44 (2C)	G#5	80 (50)	G#8	116 (74)
A-1	9 (09)	A2	45 (2D)	A5	81 (51)	A8	117 (75)
A#-1	10 (0A)	A#2	46 (2E)	A#5	82 (52)	A#8	118 (76)
B-1	11 (0B)	B2	47 (2F)	B5	83 (53)	B8	119 (77)
C0	12 (0C)	C3	48 (30)	C6	84 (54)	C9	120 (78)
C#0	13 (0D)	C#3	49 (31)	C#6	85 (55)	C#9	121 (79)
D0	14 (0E)	D3	50 (32)	D6	86 (56)	D9	122 (7A)
D#0	15 (0F)	D#3	51 (33)	D#6	87 (57)	D#9	123 (7B)
E0	16 (10)	E3	52 (34)	E6	88 (58)	E9	124 (7C)
F0	17 (11)	F3	53 (35)	F6	89 (59)	F9	125 (7D)
F#0	18 (12)	F#3	54 (36)	F#6	90 (5A)	F#9	126 (7E)
G0	19 (13)	G3	55 (37)	G6	91 (5B)	G9	127 (7F)
G#0	20 (14)	G#3	56 (38)	G#6	92 (5C)		
A0	21 (15)	A3	57 (39)	A6	93 (5D)		
A#0	22 (16)	A#3	58 (3A)	A#6	94 (5E)		
B0	23 (17)	B3	59 (3B)	B6	95 (5F)		
C1	24 (18)	C4	60 (3C)	C7	96 (60)		
C#1	25 (19)	C#4	61 (3D)	C#7	97 (61)		
D1	26 (1A)	D4	62 (3E)	D7	98 (62)		
D#1	27 (1B)	D#4	63 (3F)	D#7	99 (63)		
E1	28 (1C)	E4	64 (40)	E7	100 (64)		
F1	29 (1D)	F4	65 (41)	F7	101 (65)		
F#1	30 (1E)	F#4	66 (42)	F#7	102 (66)		
G1	31 (1F)	G4	67 (43)	G7	103 (67)		
G#1	32 (20)	G#4	68 (44)	G#7	104 (68)		
A1	33 (21)	A4	69 (45)	A7	105 (69)		
A#1	34 (22)	A#4	70 (46)	A#7	106 (6A)		
B1	35 (23)	B4	71 (47)	B7	107 (6B)		

## Preset Scene Name

Scene 1	WAVESTATION (KORG)
Scene 2	MS-20 (KORG)
Scene 3	Polysix (KORG)
Scene 4	LegacyCell (KORG)
Scene 5	Cubase SX/SL (Steinberg)
Scene 6	Digital Performer 4 (MOTU)
Scene 7	Logic Pro/Express (Emagic)
Scene 8	Reason (Propellerhead)
Scene 9	SampleTank 2 Korg Edition (IK Multimedia)
Scene10	Lounge Lizard EP-2 (Applied Acoustics Systems)
Scene11	VOKATOR (Native Instruments)
Scene12	Live (Ableton)

## MIDI インプリメンテーション

### システム・エクスクルーシブ・メッセージ

#### KONTROL49のフォーマット

F0: エクスクルーシブ・ステータス  
 42: コルグID  
 4n: [n=0 ~ F]グローバルMIDIチャンネル1 ~ 16  
 6E: 機種ID  
 02: KONTROL49のサブID  
 ff: ファンクションID(メッセージの種類)  
 ~  
 F7: エンド・オブ・エクスクルーシブ

### シーンを切り替える

KONTROL49が[F0, 42, 4n, 6E, 02, 1F, 14, ss, F7]( ss=00:Scene Number1 ~ 0B:Scene Number12 )のメッセージを受信すると、指定されたシーンに切り替わります。シーンが切り替わったときは、KONTROL49から[F0, 42, 4n, 6E, 02, 5F, 4F, ss, F7]が送信されます。


### シーンやグローバル設定データを送る(データ・ダンプ)

シーン・パラメーターとグローバル・パラメーターは、MIDIエクスクルーシブ・データとして送信することができます。MIDIエクスクルーシブ・データをコンピューターや外部MIDI機器に送信することを、データ・ダンプといいます。エディター・ライブラリアン・ソフト等によりリクエストを受けた場合、メッセージに応じてデータ・ダンプを行います。ダンプデータの詳細は、KONTROL49 MIDIインプリメンテーションに記載しています。

**note** MIDI Exclusive Format情報を含む「MIDI Implementation」は、コルグお客様相談窓口へお問い合わせください。

## KORG専用モードについて

KONTROL49には、これまで説明した汎用コントローラーとしての機能以外に専用モードというものが存在します。この専用モードでは、KONTROL49を専用モード対応のソフトウェアのコントローラーとして使用することができます。

 Settingモードでの設定は無効になります。設定を残しておきたい場合は、専用モードに入る前に保存してください。

**note** Play、Setting、Message、Sceneといったモードの概念はなくなります。

**note** 専用モードでは、MIDI端子での送受信にも対応しています。

**note** 専用モードでは、USBポートの設定も変わります。



## 専用モードでの操作

- 1 接続している専用モード対応ソフトウェアで設定を行って、専用モードに入ってください。  
ディスプレイに、専用モードに入ったことを知らせるメッセージが表示されます。
- 2 通常のモードと同様に、各コントローラーを操作します。  
OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]以外の各キーの機能や各コントローラーのアサインは、コンピューター上のソフトウェアでの設定が有効になります。OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーは、オクターブ・シフト・キーとして機能し、専用モードに入るとオクターブの設定はリセットされます。  
  
また、専用モード時USBポートでは、以下のメッセージを送信します。  
  
ポートA: 各キー、各コントローラーに関する独自のメッセージ  
  
ポートB: ノート・メッセージとピッチベンド・メッセージ
- 3 専用モードから抜けるために、接続している専用モード対応ソフトウェアの設定を行うか、KONTROL 49の[SETTING]キー、[MESSAGE]キー、[SCENE]キーを押しながら[EXIT]キーを押します。  
KONTROL 49がPlayモードに戻ります。

**note** 通常は、接続しているソフトウェアのメニューで専用モードから抜けます。ケーブルが抜けてしまいソフトウェアのメニューから専用モードを抜けられなくなってしまったときなどに、本体のキーを押して専用モードから抜けてください。

**note** 専用モードへの入り方、抜け方と専用モードに入ったときにメイン・ディスプレイに表示されるメッセージや専用モードでの詳しい操作に関しては、専用モード対応のソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

## 故障とお思いになる前に

### 電源が入らない


- 電源スイッチが正しい位置に設定されていますか? (☞p.6)
- KONTROL 49とコンピューターをハブを経由して接続していませんか?  
“LowPower”と表示された場合は、ACアダプターまたはセルフ・パワーのハブを使用してください。

### ドライバがインストールできない

- 付属のCD-ROMがCDドライブに正しく入っていますか?  
付属のCD-ROMが正しく入っていることを確認してください。
- CDドライブのレンズが汚れていませんか?  
市販のレンズ・クリーナーでクリーニングしてください。
- ネットワークのCDドライブからインストールをしていませんか?  
ネットワークで接続されているCDドライブからはインストールできません。

### ソフトウェアが反応しない

- USBケーブルが正しく接続されていますか?
- 接続したコンピューターにKONTROL 49は認識されていますか?  
  
Windows XPの場合は、コントロール パネルの「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」、ハードウェアで確認してください。  
  
Mac OS Xの場合は、Macintosh HD アプリケーション・フォルダ ユーティリティ・フォルダ “Audio MIDI設定”の“MIDI装置”タブ・ページでKONTROL 49が認識されているかを確認してください。

 ご使用になるコンピューターのハードウェア環境によっては、USB接続で本機を認識できないことがあります。

- KONTROL 49のアサイン設定とUSB-MIDIポートの設定を確認してください。
- KORG専用モードに入っていませんか?  
専用モードから抜けてください。(☞p.58)

- ・モード・ロックの状態になっていませんか？  
[EXIT]キーを押して、Playモードに戻ってください。
- ・接続している機器やソフトウェアが、その機能に対応していない場合があります。接続している機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照し、確認してください。

### 接続した外部機器やソフトウェアが同期しない

- ・KONTROL49のMIDIクロックのテンポ設定がClock Offになっていませんか？
- ・接続している機器またはソフトウェア側の設定を確認してください。

### 鍵盤、パッドのペロシティが効かない

- ・ピッチ・ベンド・ホイール、モジュレーション・ホイールに鍵盤、またはパッドのペロシティがアサインされている場合、値が0以外の時は、鍵盤またはパッドでのペロシティは無効になります。
- ・ペロシティの設定を確認してください。(鍵盤: ≪p.38「[12] Keyboard setting」、パッド1-8: ≪p.24「[3] PAD 1-8 assignment」パッド19-16: ≪p.26「[4] PAD 9-16 assignment」)

### ピッチ・ベンド・ホイール、モジュレーション・ホイールにポリフォニック・キー・プレッシャーをアサインして複数の鍵盤を弾いたとき、アフタータッチの効かない鍵盤がある

- ・複数押された鍵盤のうち、最後に押された鍵盤のノートに対してのみアフタータッチが効きます。

### 発音が止まらない

- ・パッドにノート・メッセージがアサインされていて、パッド動作がトグル(Toggle)に設定されている場合、状況によっては対応したノート・オフ・メッセージが送信されないことがあります。このようなときはMessageモードの[3] All Note Off( ≪p.50 )か[1] Panic( ≪p.49 )を実行してください。

## 主な仕様

### コントローラー

- ・キーボード: 49 鍵ペロシティ対応キーボード
- ・ロータリー・エンコーダー×8
- ・スライダー×8
- ・パッド×16: ペロシティ対応
- ・ピッチ・バンド・ホイール/モジュレーション・ホイール
- ・ベクター・ジョイスティック
- ・スイッチ 1/スイッチ 2
- ・メイン・エンコーダー( [VALUE]ダイヤル)

### ディスプレイ

- ・メイン・ディスプレイ: 8 文字( 8×5ドット)3色バックライト付LCDモジュール
- ・サブ・ディスプレイ×8: 8 文字( 8×5ドット)3色バックライト付LCDモジュール
- ・テンボLED

### メモリー

- ・ユーザー・メモリー: 12
- ・グローバル・メモリー: 1

### 接続端子

- ・ペダル/スイッチ端子
- ・MIDI IN/OUT 端子
- ・USB 端子
- ・電源端子( DC9V )

### 電源

- ・DC9V、ACアダプター
- ・USBバス電源方式( USB端子使用時)

### 消費電流

- ・USBバス電源使用時: 約350mA( 最大450mA)
- ・ACアダプター使用時: 約350mA( 最大450mA)

### 外形寸法( W×D×H )

- ・730mm×319mm×86mm

### 本体重量

- ・4.9kg

### 付属品

- ・ACアダプター
- ・USBケーブル
- ・CD-ROM( KONTROL49 エディター・ライブラリアン・ソフト、シーン・テンプレート、Wavestationソフト、ドライバなど収録)
- ・トリガー・パッド用ネーム・シート&シール
- ・取扱説明書
- ・インストール・ガイド
- ・MIDIインプリメンテーション・チャート
- ・ソフトウェア使用許諾契約

### コンピューターに接続する場合の動作環境

#### Macintosh

- 対応OS: Mac OS X 10.2以降
- 対応コンピューター: Mac OS Xの動作環境を満たすUSBポート搭載のApple Macintosh

#### Windows

- 対応OS: Microsoft Windows XP Home Edition/Professional
- 対応コンピューター: Windows XPの動作環境を満たすUSBポート搭載のコンピューター( USB chipsetはIntel社製を推奨)

### オプション

- ・ダンパー・ペダル DS-1H
- ・ペダル・スイッチ PS-1
- ・フット・コントローラー EXP-2
- ・エクスペリション/ポリウム・ペダル XVP-10

製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。( 2004年10月現在 )

# 索引

## 記号

+方向 .....	27, 28
-方向 .....	27, 28
10進数入力 .....	4
16進数入力 .....	4
1パラメーター設定 .....	2, 32, 33
2パラメーター設定 .....	2, 32, 33

## A

ACアダプター .....	5, 6, 59
AfterTouch .....	27, 28, 30
All Note Off message .....	50

## B

Bank Select .....	40, 41
Bank Select message .....	42

## C

Calibration .....	47
Channel AfterTouch .....	29

Continue message .....	51
Control Change message .....	41

## D

Damper .....	34, 36
DUMP .....	53

## E

Encoder assignment .....	20
[ENTER]キー .....	3, 19, 52
[EXIT]キー .....	3, 19, 52
Expression .....	35

## F

Foot Pedal .....	35
Foot SW assignment .....	36
Free message .....	41, 43

## G

Global setting .....	46
GM On message .....	50
GMシステム・オン .....	50

## H

[HEX LOCK]キー .....	3
--------------------	---

## K

Keyboard setting .....	38
KORG専用モード .....	58

## L

LCD Backlit setting .....	46
LCDバックライト .....	48
LSB .....	43
LSB/MSB .....	57

## M

Main Encoder assignment .....	39
Master Balance .....	27
Master Volume .....	35
Message setting .....	41
[MESSAGE]キー .....	3, 49
Messageモード .....	8, 49
MIDI Channel .....	53
MIDI IN端子 .....	46
MIDI INポート .....	45
MIDI OUT A端子 .....	46
MIDI OUT Bポート .....	46
MIDI OUT B端子 .....	46
MIDIインプリメンテーション .....	58

MIDIクロック .....	2, 17, 60
MIDIコントロール・チェンジ・メッセージ .....	56
MIDI接続 .....	6
MIDI端子 .....	5
Modulation Wheel assignment .....	30
Momentary .....	14, 25, 38
MSB .....	42

## N

Note message .....	25
NRPN .....	1, 3, 20, 21, 23, 57

## O

OCTAVE SHIFT/CURSORキー .....	3, 19, 52
-----------------------------	-----------

## P

PAD 1-8 assignment .....	24
PAD 9-16 assignment .....	26
PAD Illumination setting .....	46, 48
PAD Type .....	25
Panic message .....	49
Panpot .....	35
Pedal assignment .....	35
Pedal Calibration .....	46

PEDAL 端子 .....	5, 16
Pitch Bend Wheel assignment .....	26
PitchBend .....	27
Playモード .....	8, 13
Polarity setting .....	46, 47
Polyphonic key pressure .....	29
Portamento .....	34, 37
Portamento Time .....	35
PRELOAD .....	54
Preset Scene Name .....	58
Program Change .....	32, 40, 41
Program Change & Bank Select .....	40
Program Change message .....	42

## R

RPN .....	1, 3, 20, 21, 23, 57
-----------	----------------------

## S

Scene MIDI Channel .....	53
[SCENE]キー .....	3, 52
Sceneモード .....	8, 52
Select Scene .....	52
[SETTING]キー .....	3
Settingモード .....	8, 19

Slider assignment .....	24
Snap Shot message .....	50
Soft Pedal .....	34, 36
Sostenuto .....	34, 36
Start message .....	51
Stop message .....	50
SW1/SW2 assignment .....	32
SWITCH 端子 .....	5, 16

## T

Tap Tempo message .....	51
Tempo Change .....	40
TEMPO LED .....	2
Toggle .....	14, 25, 38, 60

## U

USB-MIDI .....	45
USB-MIDI Port setting .....	44
USB接続 .....	6
USB 端子 .....	5
User message .....	51

## V

Vector-X assignment .....	31
---------------------------	----

Vector-Y assignment .....	32
Velocity .....	27, 28, 30
Velocity Curve .....	39
Velocity Sens .....	25
Velocity Type .....	25
Volume .....	35

## W

WRITE .....	55
-------------	----

## X

X方向 .....	31
-----------	----

## Y

Y方向 .....	32
-----------	----

## ア

アフタータッチ .....	2, 27, 28, 29, 30, 60
---------------	-----------------------

## エ

エクスペクション .....	5, 35
エディター・ライブラリアン・ソフト .....	1, 53, 58
エンコーダー .....	1, 3, 13

## オ

オール・サウンド・オフ .....	49
オール・ノート・オフ .....	49, 50
オクターブの調整 .....	18

## カ

カーソルの移動 .....	22
---------------	----

## ク

クイック・アサイン .....	11
グローバルMIDIチャンネル .....	53
グローバル・パラメーター .....	19

## ケ

鍵盤 .....	2, 18
----------	-------

## コ

コンティニュー .....	51
[コントラスト調整]ノブ .....	5
コントロール・チェンジ .....	2, 30, 36, 37, 41
コントロール・チェンジのクイック・アサイン .....	23

## サ

サブ・ディスプレイ .....	3
-----------------	---

## シ

シーン .....	52
シーン・セット .....	12
システム・エクスクルーシブ・メッセージ .....	58
システム・リアルタイム・メッセージ .....	56

## ス

スイッチ1、スイッチ2 .....	2, 16
数値の入力 .....	4
スタート .....	51
スライダー .....	1, 3, 13

## セ

専用ポート .....	46
-------------	----

## ソ

送信MIDIチャンネル .....	53
ソステヌート .....	5, 34, 36
ソフト・ペダル .....	5, 34, 36

## タ

ダンパー .....	5, 34, 36
------------	-----------

## チ

チャンネル・アフタータッチ .....	29
---------------------	----

チャンネル・メッセージ .....	56
チャンネル・モード・メッセージ .....	57

## テ

データ・ダンプ .....	58
テキストの入力方法 .....	22
電源スイッチ .....	5
電源端子 .....	5
テンポ・チェンジ .....	40
テンポ調整 .....	17

## ト

トグル .....	14, 60
トリガー・パッド .....	1, 2, 4, 14

## ナ

名前を入力する .....	22
---------------	----

## ニ

入力できる文字 .....	22
---------------	----

## ノ

ノートNo. ....	57
ノート・メッセージ .....	2, 25

## ハ

パッド・イルミネーション .....	48
パッド・ナンバー .....	4
パッドの動作 .....	25
バンク・セレクト .....	40, 41
パンポット .....	5, 35

## ヒ

ピッチ・バンド .....	2, 27
ピッチ・バンド・ホイール .....	1, 2, 15, 60

## フ

フット・ペダル .....	5, 35
プリセット・シーン .....	52, 54
プログラム・チェンジ .....	2, 32, 40, 41
プログラム・チェンジ&バンク・セレクト .....	40

## ヘ

ベクター・ジョイスティック .....	1, 2, 15
ペダル .....	16
ペダル・キャリブレーション .....	47
ペダルの動作 .....	38
ペロシティ .....	2, 27, 28, 29, 30, 60
ペロシティ・カーブ .....	39
ペロシティ・タイプ .....	25

## ホ

保存 .....	55
ポラリティ .....	47
ポリフォニック・キー・プレッシャー .....	29
ボリューム .....	5, 35
ポルタメント .....	5, 34, 37
ポルタメント・タイム .....	5, 35

## マ

マスター・バランス .....	2, 27
マスター・ボリューム .....	5, 35

## メ

メイン・エンコーダー .....	2, 17
メイン・ディスプレイ .....	2

## モ

モーメンタリー .....	14
モジュレーション・ホイール .....	1, 2, 15, 60

## ユ

ユーザー・メモリー .....	1
-----------------	---

## リ

リセット・オール・コントローラー .....	49
------------------------	----

## アフターサービス

### 保証書

本製品には、保証書が添付されています。  
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。  
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

### 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。  
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

### 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品(電子回路など)に機能維持のために必要な部品)の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品(パネルなど)の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめサービス・センターへお問い合わせください。

### 修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。  
それでも異常があるときは、サービス・センターへお問い合わせください。

### 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

### ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。  
商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

### WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です。

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

## 株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03(3799)9086

サービス・センター: 〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1  
明正大井5号営業所コルグ物流センター内 TEL 03(3799)9085

**KORG** 株式会社コルグ

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

URL: <http://www.korg.co.jp/>